

小千谷市認知症実態調査結果 (第一報)

平成23年2月

新潟県小千谷市保健福祉課
新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

目 次

I 目的	1
II 実施主体	1
III 対象	1
IV 方法	1
V 結果	2
1 基本属性等	2
1-1 性	2
1-2 年齢	2
1-3 婚姻状況	3
1-4 教育年数	4
1-5 家族構成	5
1-6 初回要介護認定の年	7
1-7 要介護度	8
1-8 日常生活自立度	9
1-9 認知症高齢者日常生活自立度	9
1-10 経済状況	10
2 医療	12
2-1 認知症診断名	12
2-2 認知症発症年齢	12
2-3 認知症以外の疾病の有無	13
2-4 本人の状況	14
3 介護者の状況	22
3-1 主たる介護者について	22
3-2 主たる介護者は本人と同居しているか	23
3-3 主たる介護者への協力	24
3-4 主たる介護者の健康やくらしの変化	27
4 サービス	39
4-1 介護福祉サービスの利用について	39
4-2 傾聴ボランティアの利用を希望するか	43
4-3 不足していると感じる支援や仕組みについて	44

5	被介護者の初回介護認定以前の生活	46
5-1	被介護者の基礎疾患	46
5-2	被介護者の飲酒歴	47
5-3	被介護者の喫煙歴	49
5-4	被介護者の人生のイベント	49
5-5	被介護者の特異な体験	51
5-6	被介護者の認定以前の職業について	53
5-7	被介護者の楽しみ	55
6	その他	56
6-1	中越大震災の体験	56
6-2	虐待の可能性について調査員が感じたこと	59
VI	結果のまとめ	60
VII	今後の取り組みについて	61
VIII	おわりに	63
	資料	
	認知症重点支援ケース調査票	67
	認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上で介護保険サービス未利用者調査票	77

I 目的

中越大震災による生活環境の激変やストレスは、認知症高齢者の増加に拍車をかけていると予想される。本調査は、要介護高齢者における認知症患者の実態を把握しその対策の充実を図るとともに、第5期介護保険事業計画策定に活用することを目的として行なった。具体的な目的を以下に示す。(1)認知症重点支援ケースを把握し、ネットワークの強化や対応力を向上させる。(2)認知症リハビリテーション(作業療法)検討の資料とする。(3)介護者のうつ予防と介護者支援の充実を図り、虐待予防につなげる。(4)認知症発症の要因を探り、保健事業の予防活動に役立てる。(5)震災との関連を探る。

本報告書では、介護サービスを利用している者と利用していない者の比較という観点から、要介護(認知症)高齢者の特性を報告する。

II 実施主体

小千谷市および新潟こころのケアセンター

III 対象

要支援・要介護認定者の中で認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上(主治医意見書)であり、以下の①又は②に該当する者 173 人とした。対象選定基準日は平成 21 年 12 月 31 日であった。

①重点支援ケース(以下のいずれかに該当する者)

- 1人暮らしで閉じこもり
- 高齢者世帯で閉じこもり
- 認知症高齢者と障害者の世帯で問題解決が困難
- 心理・行動症状がある
- 虐待の疑いがある
- 介護者の健康状態に問題があるが介護の協力が得られない
- 若年性認知症
- 経済困難
- 権利擁護が必要(消費者被害にあっている等)

②認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上で、介護サービス未利用者

IV 方法

家庭訪問により面接調査を実施した。調査票は別紙のとおりである。訪問調査の期間は平成 22 年 9 月～11 月であった。

V 結果

調査対象者 173 人のうち、調査に参加者した者は 126 人で、そのうち介護サービス利用者は 94 人、介護サービス未利用者は 32 人であった。

1 基本属性等

1-1 性

図 1-1 性別（男性および女性の人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

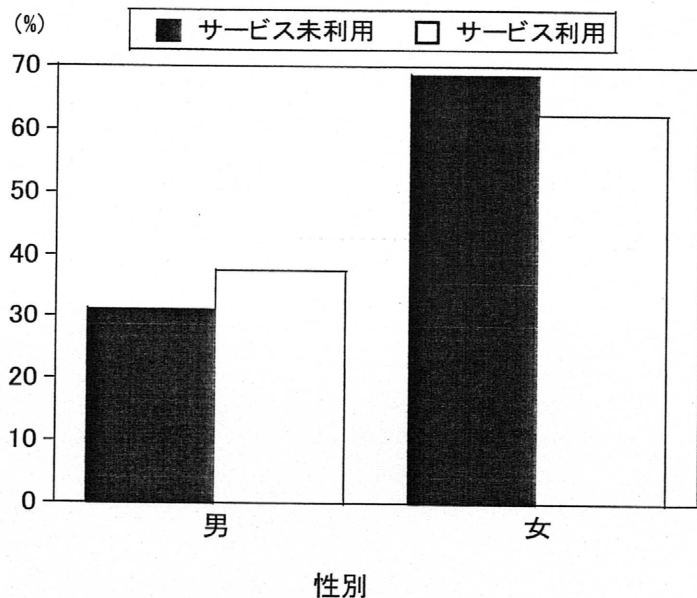


表 1-1 性別(人数)

性別	サービス未利用者	サービス利用者	合計
男	10	35	45
女	22	58	80
合計	32	93	125

欠損値 1 例

1-2 年齢

図 1-2 年齢分布（年代別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

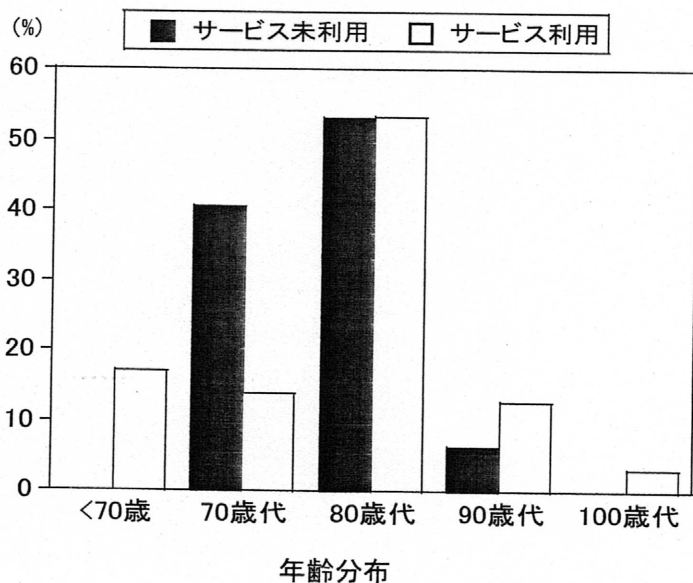


表 1-2 年齢分布(人数)

年齢群	サービス未利用者	サービス利用者	合計
70歳未満	0	16	16
70歳代	13	13	26
80歳代	17	50	67
90歳代	2	12	14
100歳代	0	3	3
合計	32	94	126

○平均年齢は、サービス未利用者 81.7 歳、サービス利用者 80.6 歳であった。

1-3 婚姻状況

図 1-3 婚姻状況の分布 (婚姻状況別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

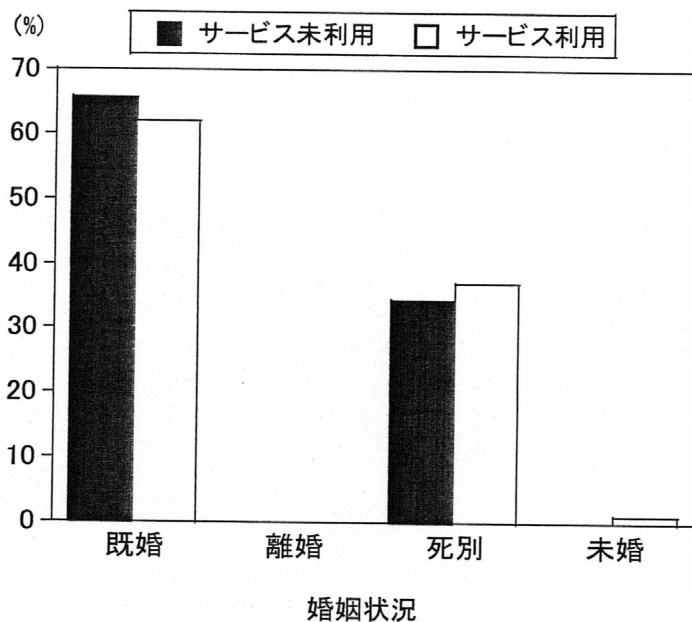


表 1-3 婚姻状況(人数)

婚姻状況	サービス未利用者	サービス利用者	合計
既婚	21	57	78
離婚	0	0	0
死別	11	34	45
未婚	0	1	1
合計	32	92	124

欠損値 2 例

1-4 教育年数

図 1-4 教育年数の分布（教育年数別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

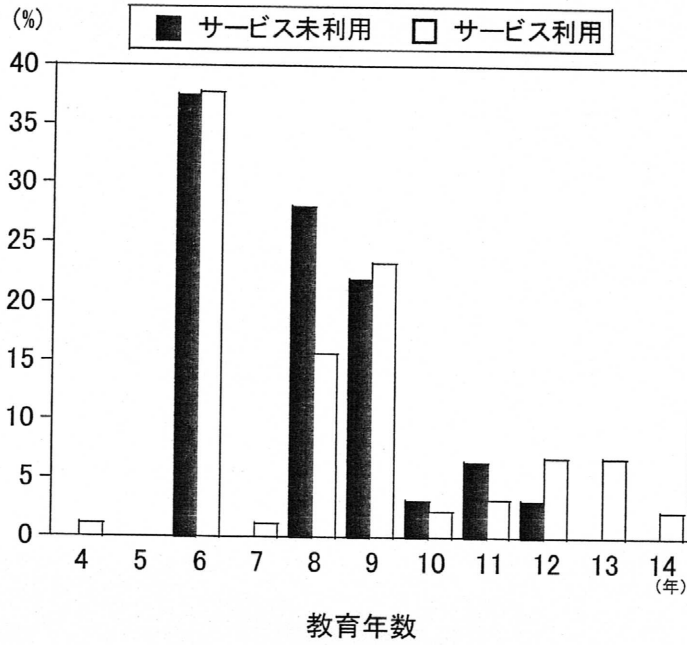


表 1-4 教育年数(人数)

教育年数	サービス未利用者	サービス利用者	合計
4年	0	1	1
5年	0	0	0
6年	12	34	46
7年	0	1	1
8年	9	14	23
9年	7	21	28
10年	1	2	3
11年	2	3	5
12年	1	6	7
13年	0	6	6
14年	0	2	2
合計	32	90	122

欠損値 4 例

1-5 家族構成

図 1-5-1 家族構成の分布（家族構成別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

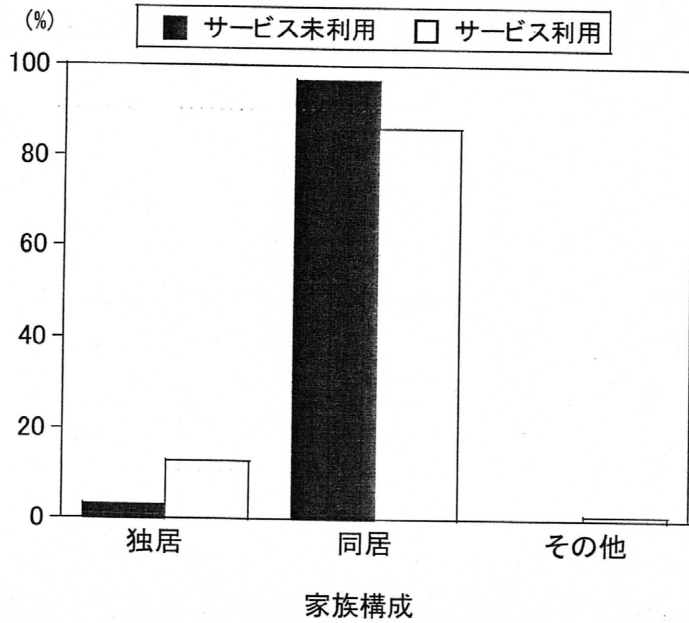


表 1-5-1 家族構成(人数)

家族構成	サービス未利用者	サービス利用者	合計
独居	1	12	13
同居	31	81	112
その他	0	1	1
合計	32	94	126

図 1-5-2 同居と回答した人の同居人数の分布（同居人数別の回答者数を未利用群・利用群の「同居」回答者全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

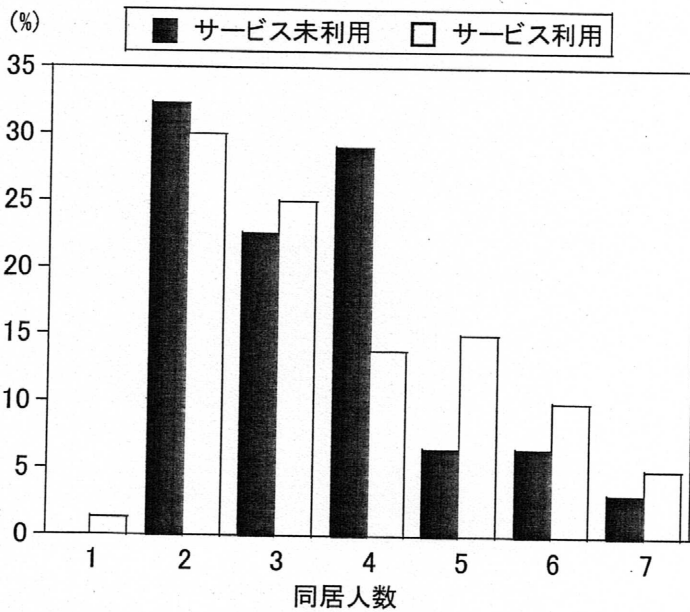
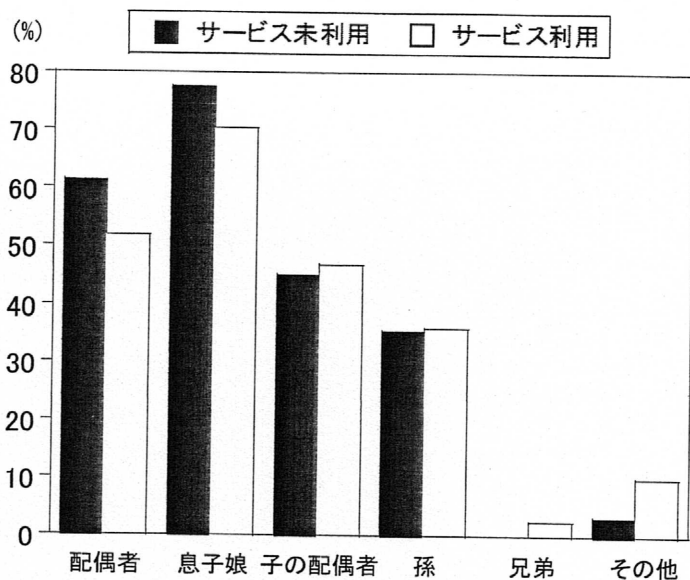


表 1-5-2 同居と回答した人の同居人数

同居人数	サービス未利用者	サービス利用者	合計
1	0	1	1
2	10	24	34
3	7	20	27
4	9	11	20
5	2	12	14
6	2	8	10
7	1	4	5
合計	31	80	111

欠損値 1 例

図 1-5-3 同居と回答した人の同居者の内訳（複数回答可であったため、以下の人と住んでいると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）



同居者の内訳

表 1-5-3 同居と回答した人の同居者の内訳（複数回答）

同居者	サービス未利用者	サービス利用者	合計
配偶者	19	42	61
息子娘	24	57	81
子の配偶者	14	38	52
孫	11	29	40
兄弟	0	2	2
その他	1	8	9
合計	69	176	245

1-6 初回要介護認定の年

図 1-6 初回要介護認定年の分布（認定年別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

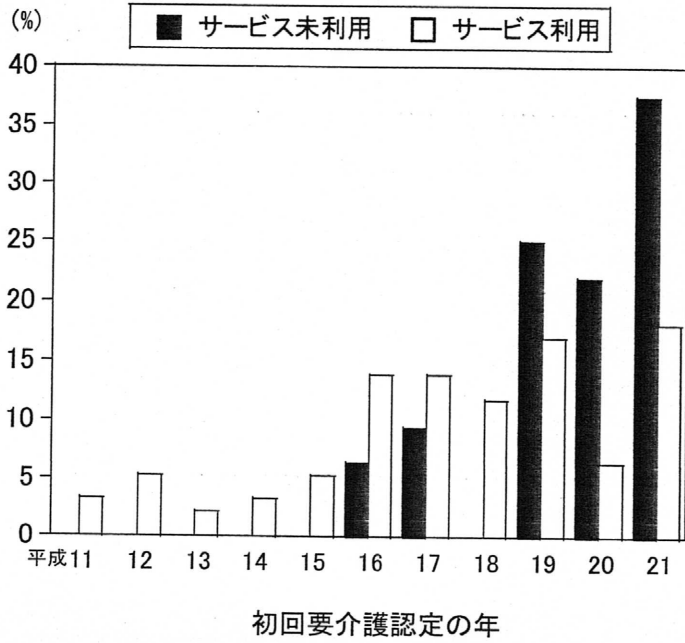


表 1-6 初回要介護認定年(人数)

認定年	サービス未利用者	サービス利用者	合計
平成11年	0	3	3
平成12年	0	5	5
平成13年	0	2	2
平成14年	0	3	3
平成15年	0	5	5
平成16年	2	13	15
平成17年	3	13	16
平成18年	0	11	11
平成19年	8	16	24
平成20年	7	6	13
平成21年	12	17	29
合計	32	94	126

1-7 要介護度

図 1-7 要介護度の分布（要介護度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

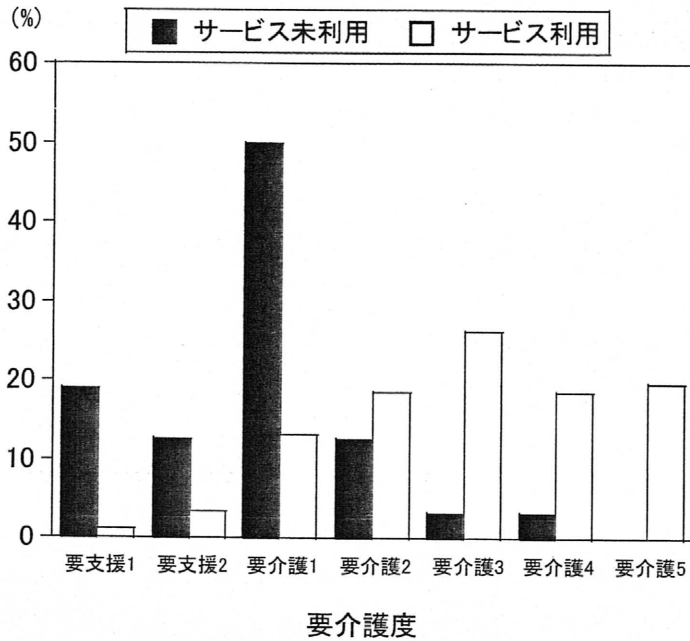


表 1-7 要介護度(人数)

要介護度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
要支援1	6	1	7
要支援2	4	3	7
要介護1	16	12	28
要介護2	4	17	21
要介護3	1	24	25
要介護4	1	17	18
要介護5	0	18	18
合計	32	92	124

欠損値 2 例

○サービス利用者は、サービス未利用者と比較して介護度が高かった。

1-8 日常生活自立度

図 1-8 日常生活自立度の分布（自立度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

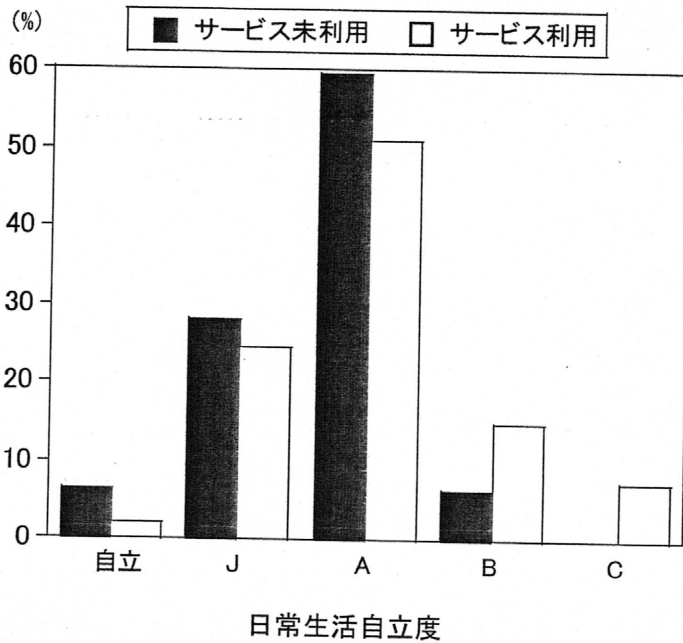


表 1-8 日常生活自立度(人数)

日常生活自立度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
自立	2	2	4
J	9	23	32
A	19	48	67
B	2	14	16
C	0	7	7
合計	32	94	126

1-9 認知症高齢者日常生活自立度

図 1-9 認知症高齢者日常生活自立度の分布（自立度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

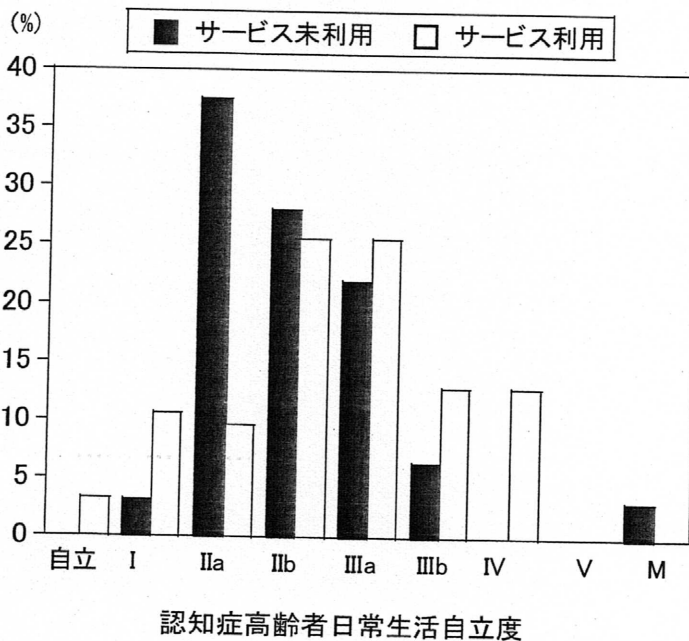


表 1-9 認知症高齢者日常生活自立度(人数)

認知症自立度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
自立	0	3	3
I	1	10	11
IIa	12	9	21
IIb	9	24	33
IIIa	7	24	31
IIIb	2	12	14
IV	0	12	12
V	0	0	0
M	1	0	1
合計	32	94	126

○サービス利用者は、サービス未利用者と比較して認知症状が重かった。

1-10 経済状況

1-10-1 年金の種類

図 1-10-1 年金の種類 (複数回答可であったため、以下の年金をもらっていると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

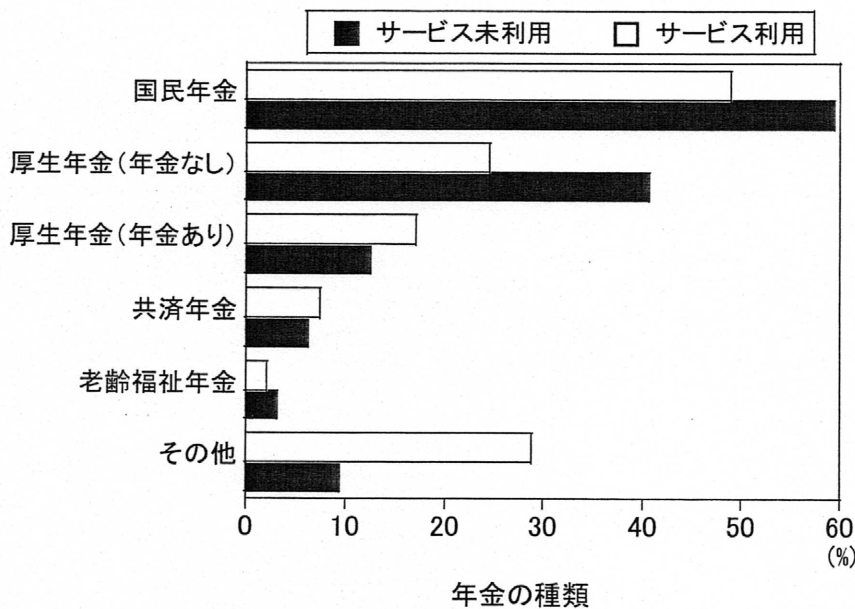


表 1-10-1 年金の種類の内訳(複数回答)

年金の種類	サービス未利用者	サービス利用者	合計
国民年金	19	46	65
厚生年金(年金なし)	13	23	36
厚生年金(年金あり)	4	16	20
共済年金	2	7	9
老齢福祉年金	1	2	3
その他	3	27	30
合計	42	121	163

1-10-2 家計の主な収入

図 1-10-2 家計の主な収入（複数回答可であったため、以下の収入を得ていると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

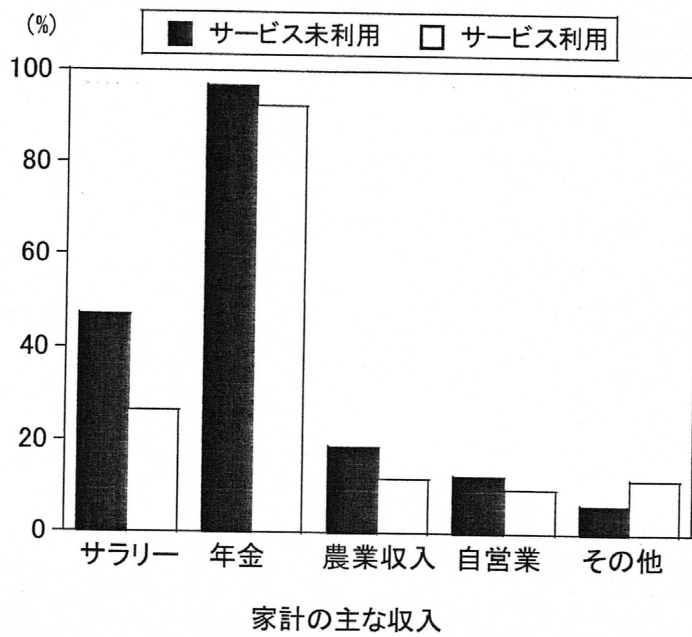


表 1-10-2 家計の主な収入の内訳(複数回答)

家計の主な収入	サービス未利用者	サービス利用者	合計
サラリー	15	25	40
年金	31	87	118
農業収入	6	11	17
自営業	4	9	13
その他	2	11	13
合計	58	143	201

2 医療

2-1 認知症診断名

図 2-1 認知症診断名（診断名別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

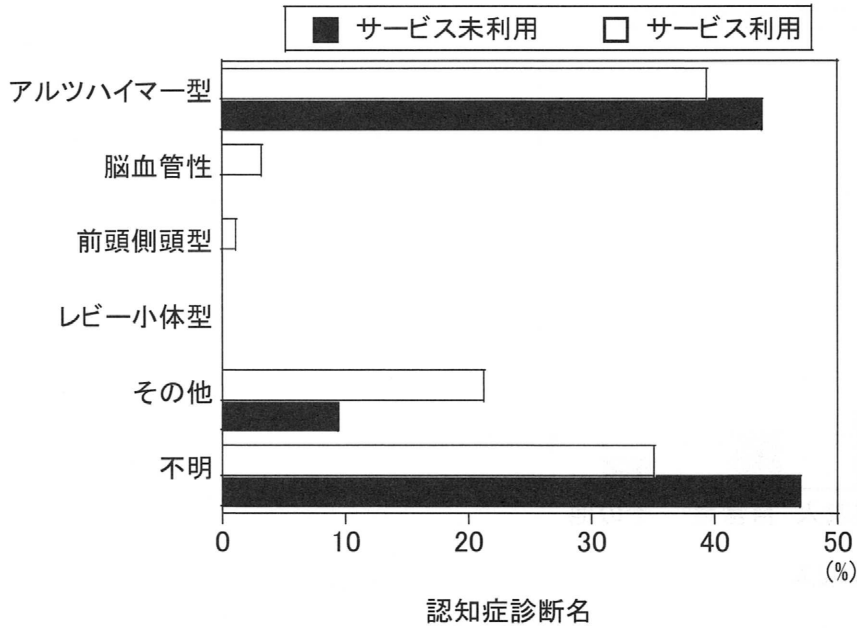


表 2-1 認知症診断名(人数)

認知症診断名	サービス未利用者	サービス利用者	合計
アルツハイマー	14	37	51
脳血管性	0	3	3
前頭側頭型	0	1	1
レビー小体型	0	0	0
その他	3	20	23
不明	15	33	48
合計	32	94	126

2-2 認知症発症年齢

図 2-2 認知症発症年齢の分布（発症年齢別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

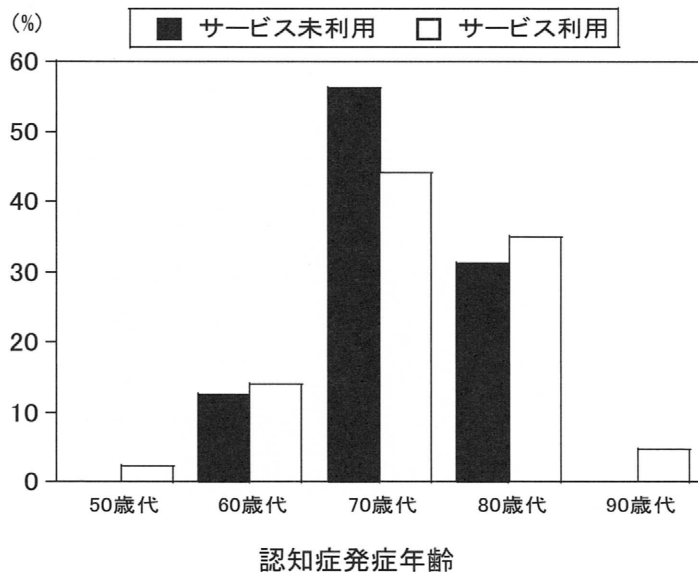


表 2-2 認知症発症年齢(人数)

年齢群	サービス未利用者	サービス利用者	合計
50 歳代	0	1	1
60 歳代	2	6	8
70 歳代	9	19	28
80 歳代	5	15	20
90 歳代	0	2	2
合計	16	43	59

欠損値 67 例

○認知症発症年齢の平均値は、サービス未利用者で 76.4 歳、サービス利用者で 76.4 歳であった。

2-3 認知症以外の疾病の有無

図 2-3 認知症以外の疾病（疾病の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

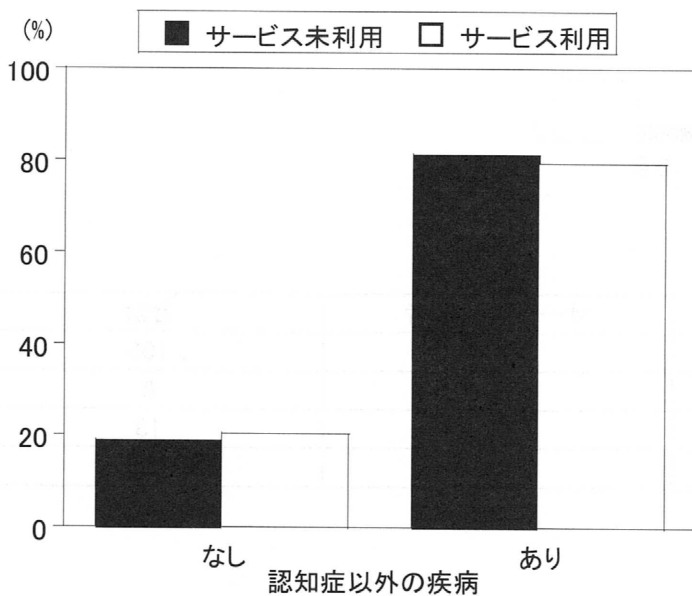


表 2-3 認知症以外の疾病(人数)

認知症以外の疾病	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	6	19	25
あり	26	74	100
合計	32	93	125

欠損値 1 例

2-4 本人の状況

2-4-1 心理・行動症状

2-4-1-1 被害的症状の有無・頻度

図 2-4-1-1 被害的状況（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

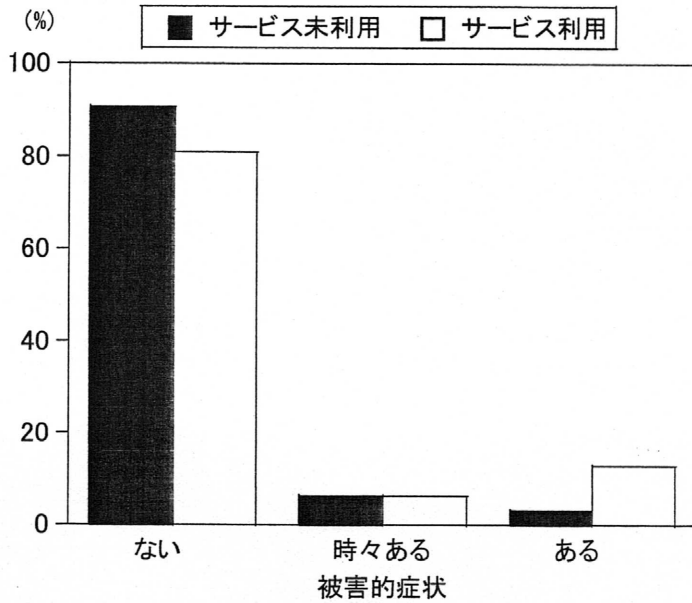


表 2-4-1-1 被害的状況(人数)

被害的状況	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	29	76	105
時々ある	2	6	8
ある	1	12	13
合計	32	94	126

2-4-1-2 作話の有無・頻度

図 2-4-1-2 作話（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

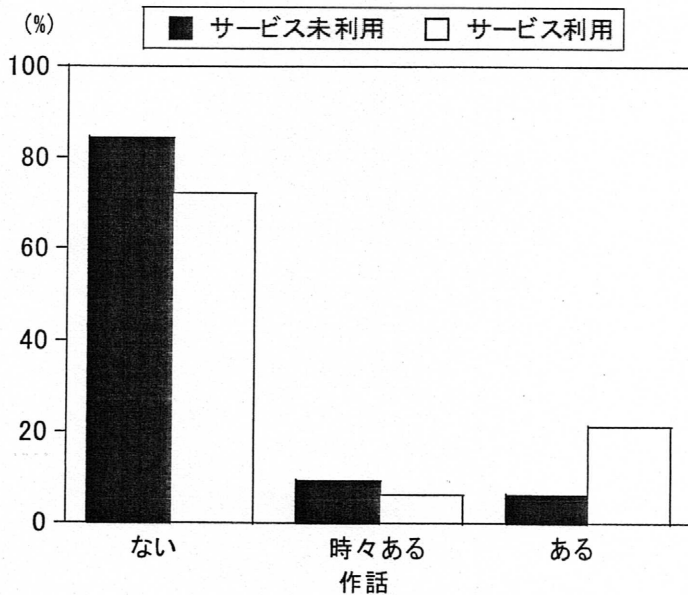


表 2-4-1-2 作話(人数)

作話	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	27	68	95
時々ある	3	6	9
ある	2	20	22
合計	32	94	126

2-4-1-3 昼夜逆転の有無・頻度

図 2-4-1-3 昼夜逆転 (症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

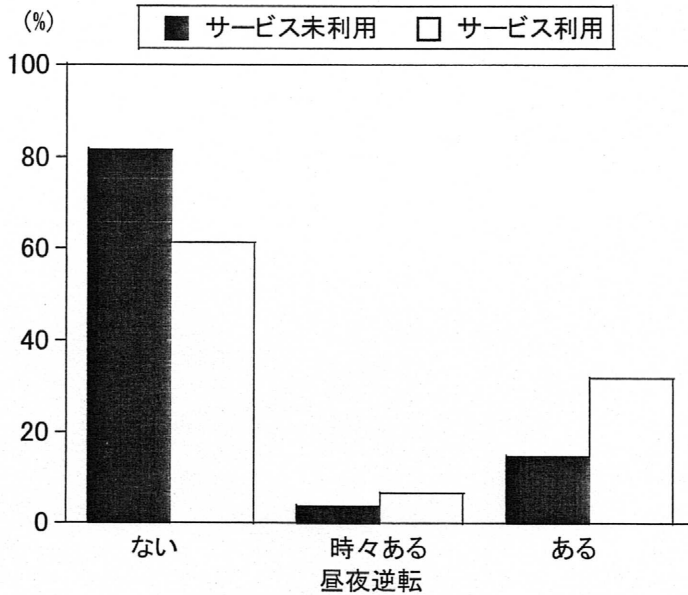


表 2-4-1-3 昼夜逆転(人数)

昼夜逆転	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	27	59	86
時々ある	1	6	7
ある	4	29	33
合計	32	94	126

2-4-1-4 徘徊「落ち着かない」の有無・頻度

図 2-4-1-4 徘徊「落ち着かない」(症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

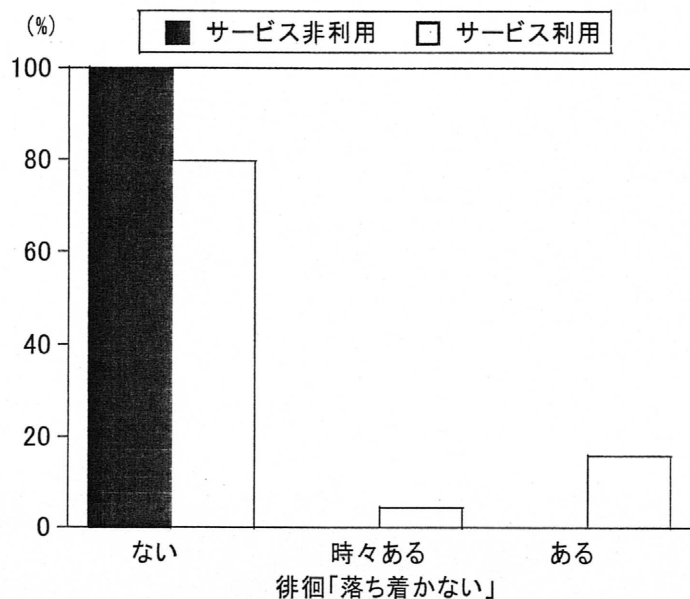


表 2-4-1-4 徘徊「落ち着かない」(人数)

落ち着かない	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	32	75	107
時々ある	0	4	4
ある	0	15	15
合計	32	94	126

2-4-1-5 徘徊「1人で出たがる」の有無・頻度

図 2-4-1-5 徘徊「1人で出たがる」(症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

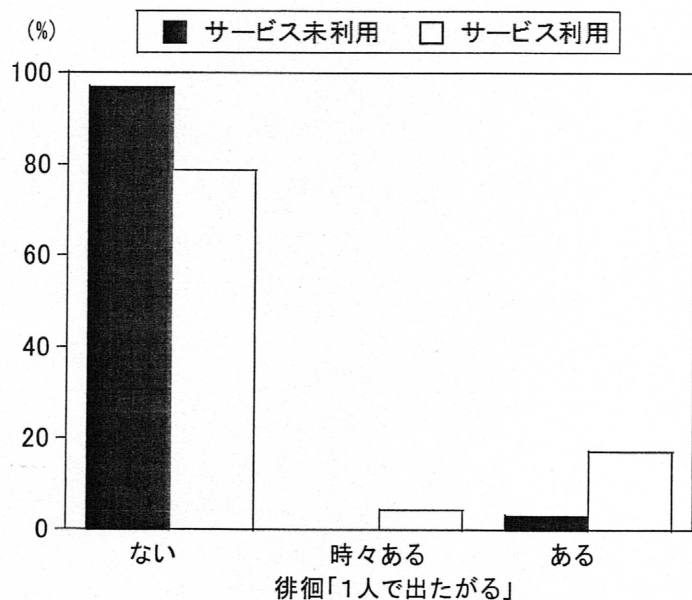


表 2-4-1-5 徘徊「1人で出たがる」(人数)

1人で出たがる	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	31	74	105
時々ある	0	4	4
ある	1	16	17
合計	32	94	126

2-4-1-6 ひどい物忘れの有無・頻度

図 2-4-1-6 ひどい物忘れ (症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

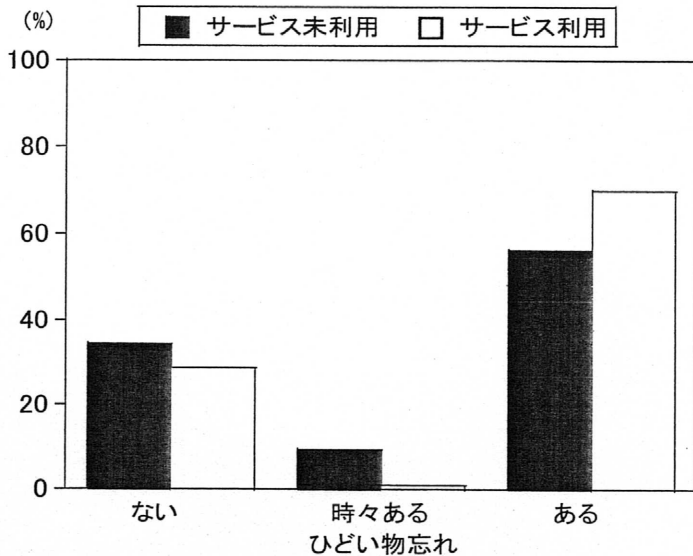


表 2-4-1-6 ひどい物忘れ(人数)

ひどい物忘れ	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	11	27	38
時々ある	3	1	4
ある	18	66	84
合計	32	94	126

2-4-1-7 暴言・暴力の有無・頻度

図 2-4-1-7 暴言・暴力 (症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

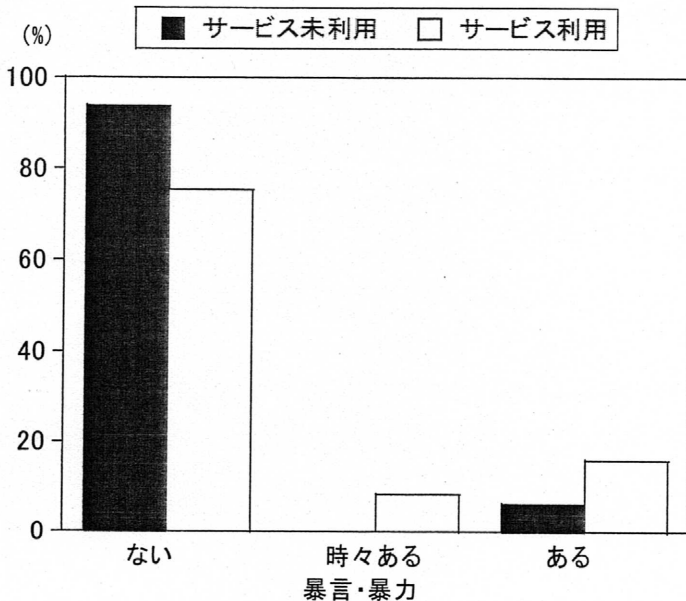


表 2-4-1-7 暴言・暴力(人数)

暴言・暴力	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	30	71	101
時々ある	0	8	8
ある	2	15	17
合計	32	94	126

2-4-1-8 異食の有無・頻度

図 2-4-1-8 異食（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

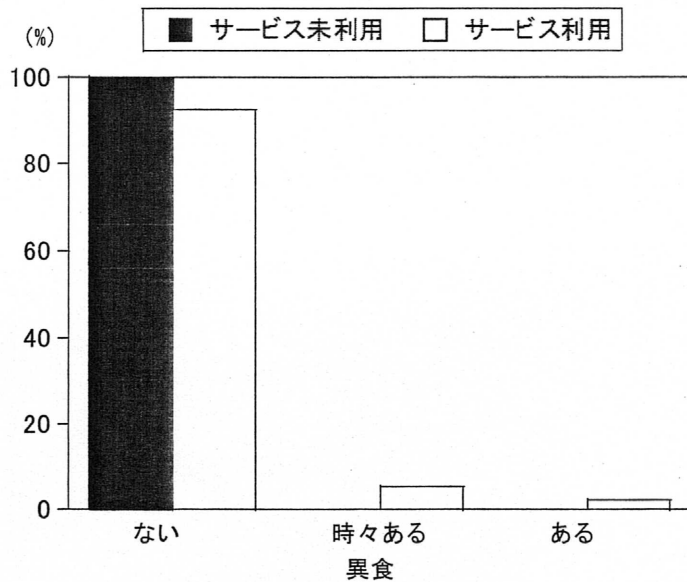


表 2-4-1-8 異食(人数)

異食	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	32	87	119
時々ある	0	5	5
ある	0	2	2
合計	32	94	126

2-4-1-9 過食の有無・頻度

図 2-4-1-9 過食（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

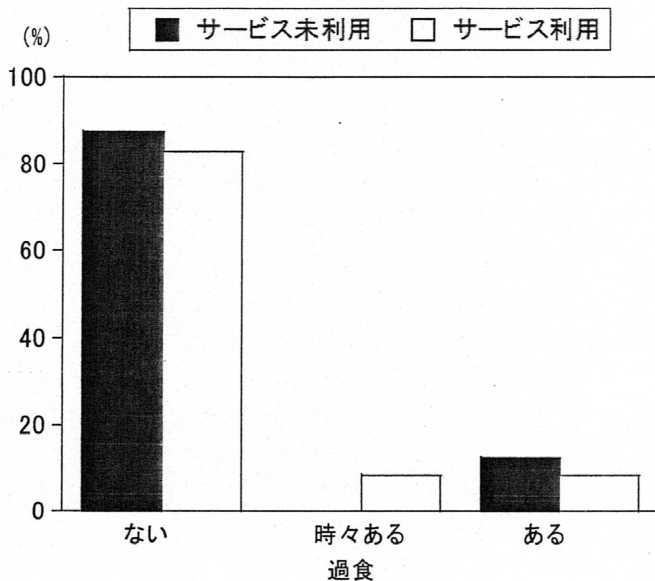


表 2-4-1-9 過食(人数)

過食	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	28	78	106
時々ある	0	8	8
ある	4	8	12
合計	32	94	126

2-4-1-10 拒食の有無・頻度

図 2-4-1-10 拒食（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

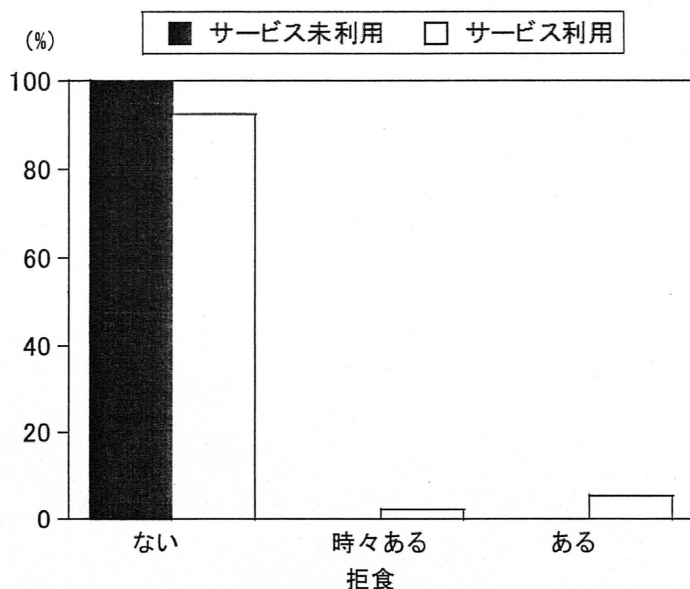


表 2-4-1-10 拒食(人数)

拒食	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	32	87	119
時々ある	0	2	2
ある	0	5	5
合計	32	94	126

2-4-1-11 せん妄の有無・頻度

図 2-4-1-11 せん妄（症状の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

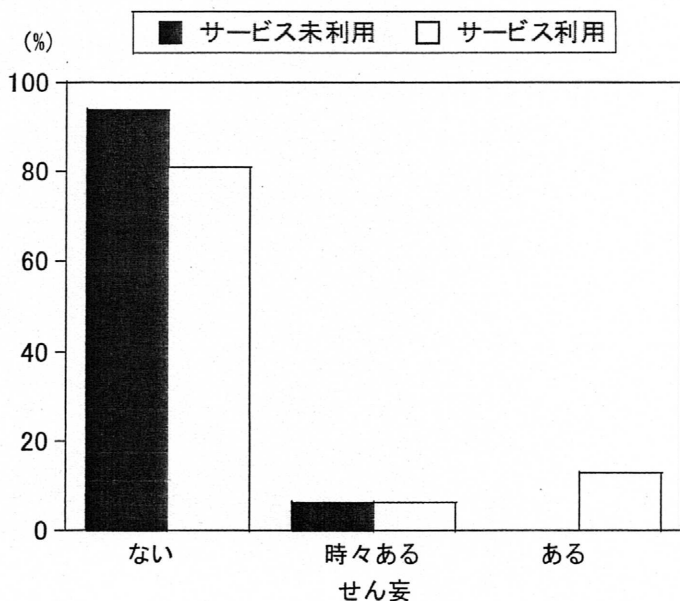


表 2-4-1-11 せん妄(人数)

せん妄	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	30	76	106
時々ある	2	6	8
ある	0	12	12
合計	32	94	126

2-4-1-12 失禁等排泄介護困難の有無・頻度

図 2-4-1-12 排泄介護困難（困難の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

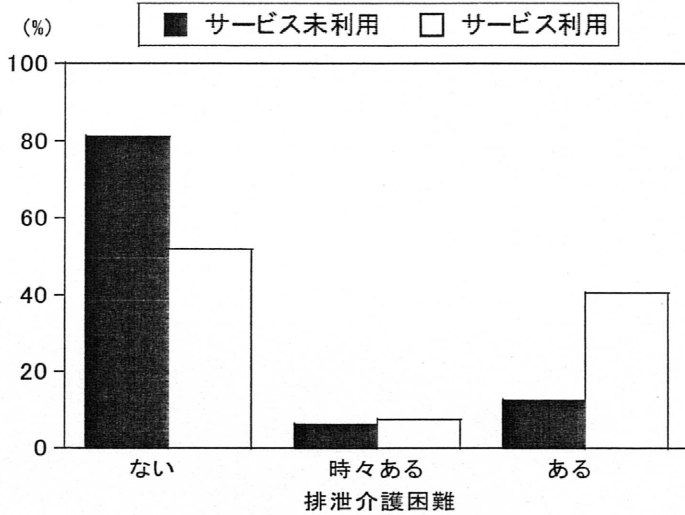


表 2-4-1-12 排泄介護困難(人数)

排泄介護困難	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	26	49	75
時々ある	2	7	9
ある	4	38	42
合計	32	94	126

○サービス利用者は、サービス未利用者と比較して排泄介護困難の多い傾向が見られた。

2-4-1-13 火の不始末の有無・頻度

図 2-4-1-13 火の不始末（不始末の頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

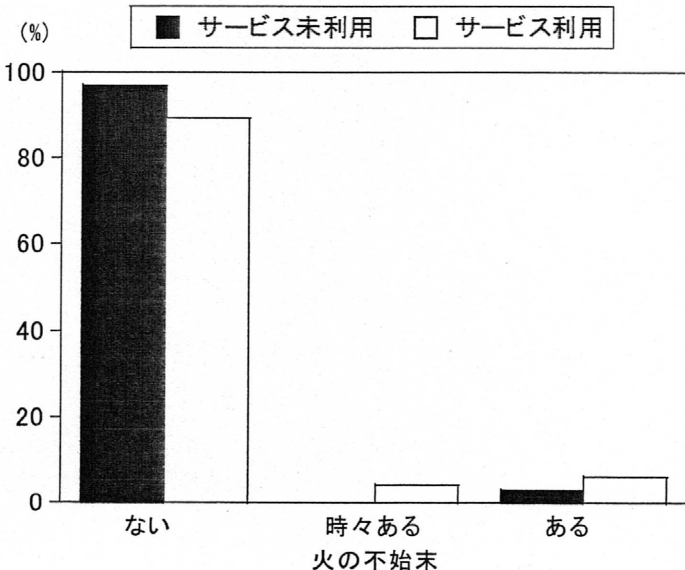
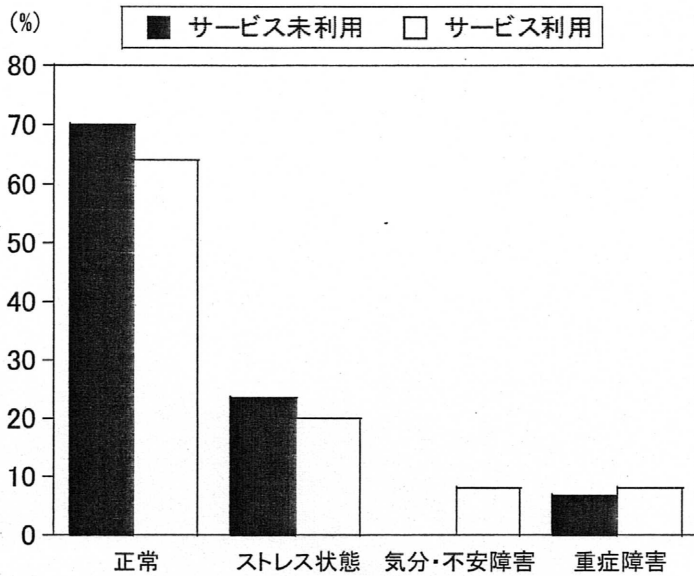


表 2-4-1-13 火の不始末(人数)

火の不始末	サービス未利用者	サービス利用者	合計
ない	31	84	115
時々ある	0	4	4
ある	1	6	7
合計	32	94	126

2-4-2 本人(被介護者)のメンタルヘルス: K6 スコアによる評価

図 2-4-2 K6 スコアによる被介護者の不安・抑うつ度の分布 (不安・抑うつ度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)



K6 スコアによる被介護者の不安・抑うつ度の分布

表 2-4-2 K6 スコアによる被介護者の不安・抑うつ度の分布(人数)

不安・抑うつ度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
正常	21	32	53
ストレス状態	7	10	17
気分・不安障害	0	4	4
重症障害	2	4	6
合計	30	50	80

欠損値 46 例

○不安・抑うつ度の尺度 K6 について

K6は、気分障害・不安障害のスクリーニングのために使用される自記式調査票による尺度である。6項目の合計点を計算(Likert採点法)し、0-4 点は「正常」、5-9 点は「心理的ストレス状態」、10 点以上は「気分不安障害」、13 点以上は「重症障害」とされる。

○本人の K6 スコアについて

今回の調査では、本人(被介護者)が回答していない場合が多数含まれているようである。K6 は本人の回答を基本としているので、今回の調査結果は参考データという位置づけとなる。

3 介護者の状況

3-1 主たる介護者について

3-1-1 主たる介護者

図 3-1-1 主たる介護者（介護者別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

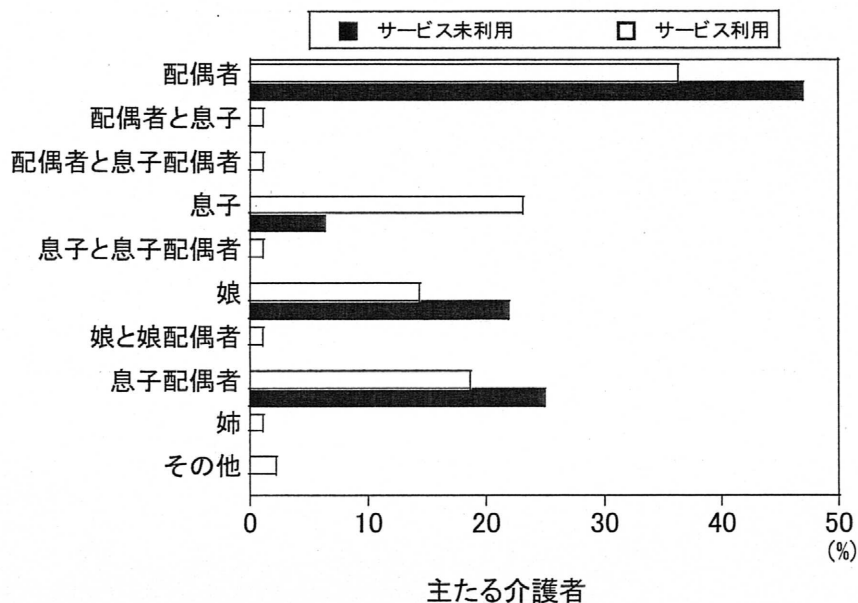


表 3-1-1 主たる介護者(人数)

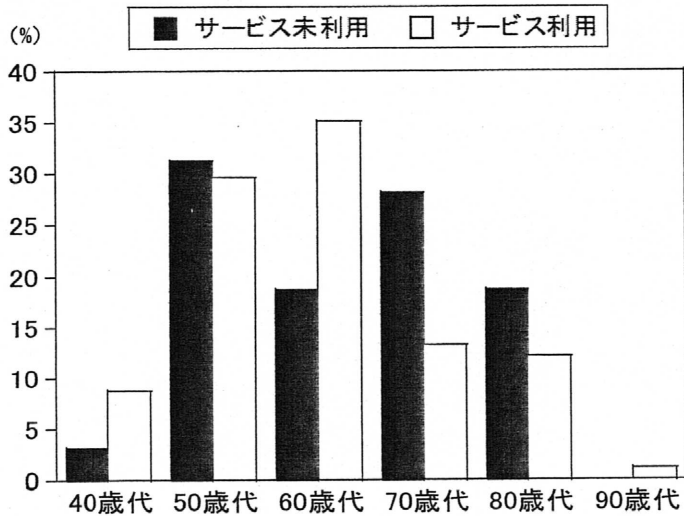
主たる介護者	サービス未利用者	サービス利用者	合計
配偶者	15	33	48
配偶者と息子	0	1	1
配偶者と息子配偶者	0	1	1
息子	2	21	23
息子と息子配偶者	0	1	1
娘	7	13	20
娘と娘配偶者	0	1	1
息子配偶者	8	17	25
姉	0	1	1
その他	0	2	2
合計	32	91	123

欠損値 3 例

○息子が主たる介護者の場合はサービスを利用する率が高く、配偶者、娘、息子の配偶者のように女性が主たる介護者の場合はサービスを利用する率が低い傾向が見られた。

3-1-2 主たる介護者の年齢

図 3-1-2 主たる介護者の年齢の分布（年代別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）



主たる介護者の年齢の分布

表 3-1-2 主たる介護者の年齢の分布(人数)

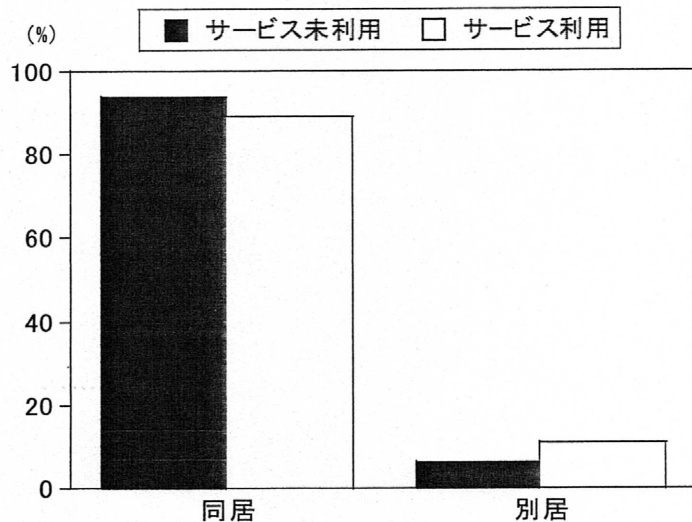
年齢群	サービス未利用者	サービス利用者	合計
40歳代	1	8	9
50歳代	10	27	37
60歳代	6	32	38
70歳代	9	12	21
80歳代	6	11	17
90歳代	0	1	1
合計	32	91	123

欠損値 3 例

○主たる介護者の平均年齢は、サービス未利用者 67.0 歳、サービス利用者 63.8 歳であった。サービス利用者の主たる介護者は、サービス未利用者と比較して若い傾向にあった。

3-2 主たる介護者は本人と同居しているか

図 3-2-1 同居か別居か（同居と別居別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）



同居・別居

表 3-2-1 同居か別居か(人数)

主たる介護者と本人	サービス未利用者	サービス利用者	合計
同居	30	81	111
別居	2	10	12
合計	32	91	123

欠損値 3 例

表 3-2-2 別居の場合、主たる介護者の住所はどこか(人数)

主たる介護者の住所	サービス未利用者	サービス利用者	合計
小千谷市	1	7	8
長岡市	1	2	3
上記以外の県内	0	1	1
県外	0	0	0
合計	2	10	12

3-3 主たる介護者への協力

3-3-1 介護の協力者

図 3-3-1-1 協力者の有無 (有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

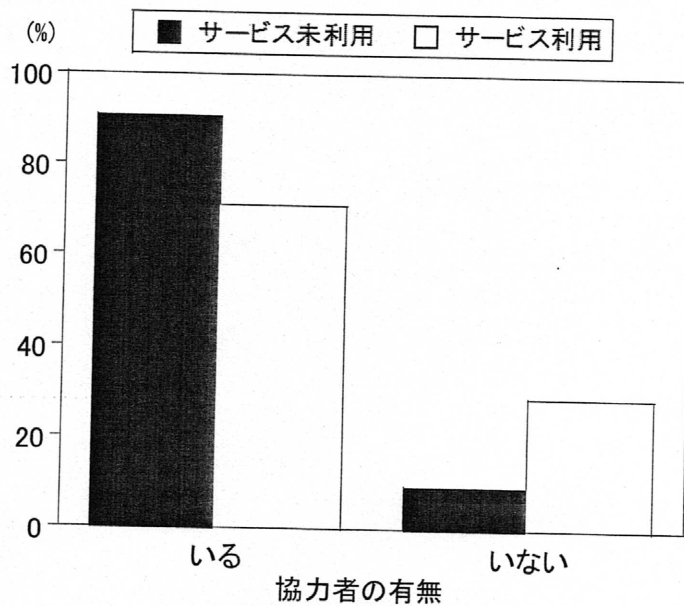


表 3-3-1-1 協力者の有無(人数)

協力者の有無	サービス未利用者	サービス利用者	合計
いる	29	64	93
いない	3	26	29
合計	32	90	122

欠損値 4 例

○サービス利用者の主たる介護者は、協力者がいない傾向にあった。

図 3-3-1-2 介護の協力者がいる場合、それは誰か（複数回答可であったため、以下の人が介護協力者であると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

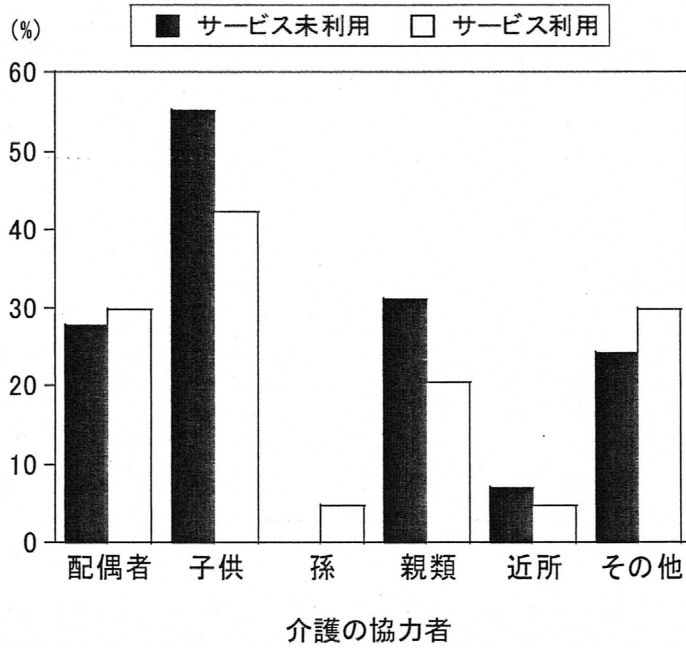


表 3-3-1-2 介護の協力者がいる場合、それは誰か(人数; 複数回答)

介護の協力者	サービス未利用者	サービス利用者	合計
配偶者	8	19	27
子供	16	27	43
孫	0	3	3
親類	9	13	22
近所	2	3	5
その他	7	19	26
合計	42	84	126

3-3-2 相談相手

図 3-3-2-1 相談相手の有無（有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

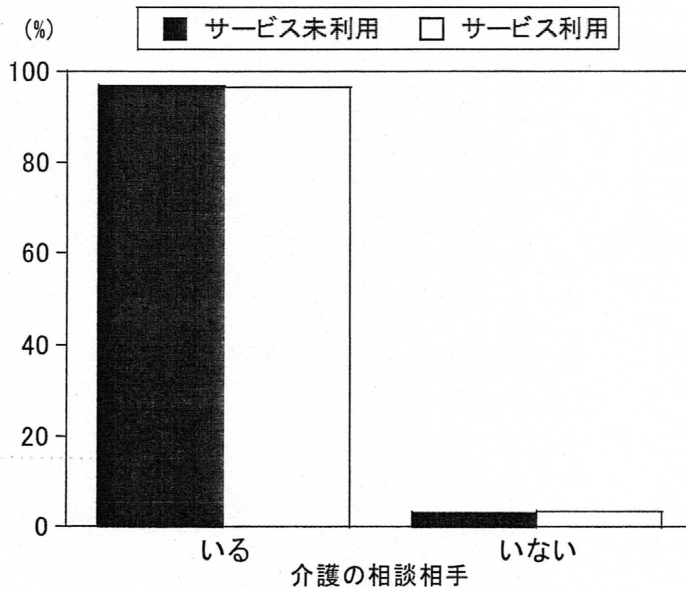


表 3-3-2-1 相談相手の有無(人数)

相談相手	サービス未利用者	サービス利用者	合計
いる	31	87	118
いない	1	3	4
合計	32	90	122

欠損値 4 例

図 3-3-2-2 相談相手がいる場合、それは誰か(複数回答可であったため、以下の人が相談相手であると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

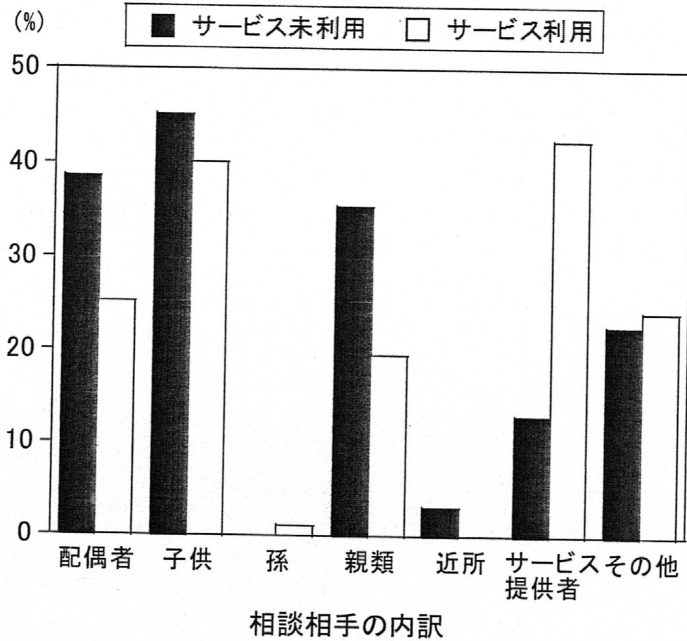


表 3-3-2-2 相談相手がいる場合、それは誰か(人数; 複数回答)

相談相手	サービス未利用者	サービス利用者	合計
配偶者	12	22	34
子供	14	35	49
孫	0	1	1
親類	11	17	28
近所	1	0	1
サービス提供者	4	37	41
その他	7	21	28
合計	49	133	182

3-4 主たる介護者の健康や暮らしの変化

3-4-1 既往歴(初回介護認定前)

図 3-4-1 初回介護認定前既往歴(複数回答可であったため、以下病気になったと答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

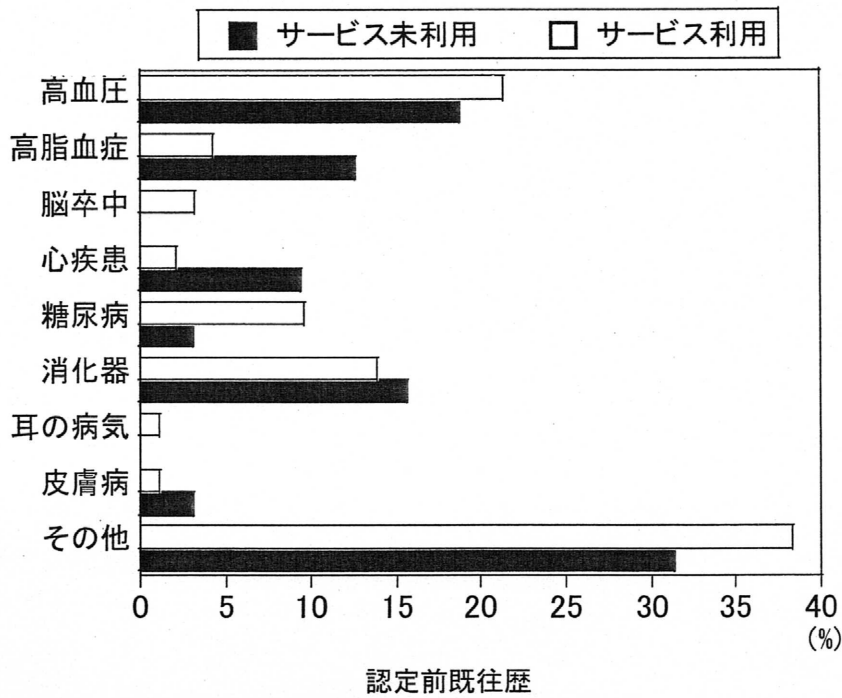


表 3-4-1 初回介護認定前既往歴(人数; 複数回答)

既往歴(認定前)	サービス未利用者	サービス利用者	合計
高血圧	6	20	26
高脂血症	4	4	8
脳卒中	0	3	3
心疾患	3	2	5
糖尿病	1	9	10
消化器	5	13	18
耳の病気	0	1	1
皮膚病	1	1	2
その他	10	36	46
合計	30	89	119

3-4-2 既往歴(初回介護認定後)

図 3-4-2 初回介護認定後既往歴(複数回答可であったため、以下の病気になったと答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

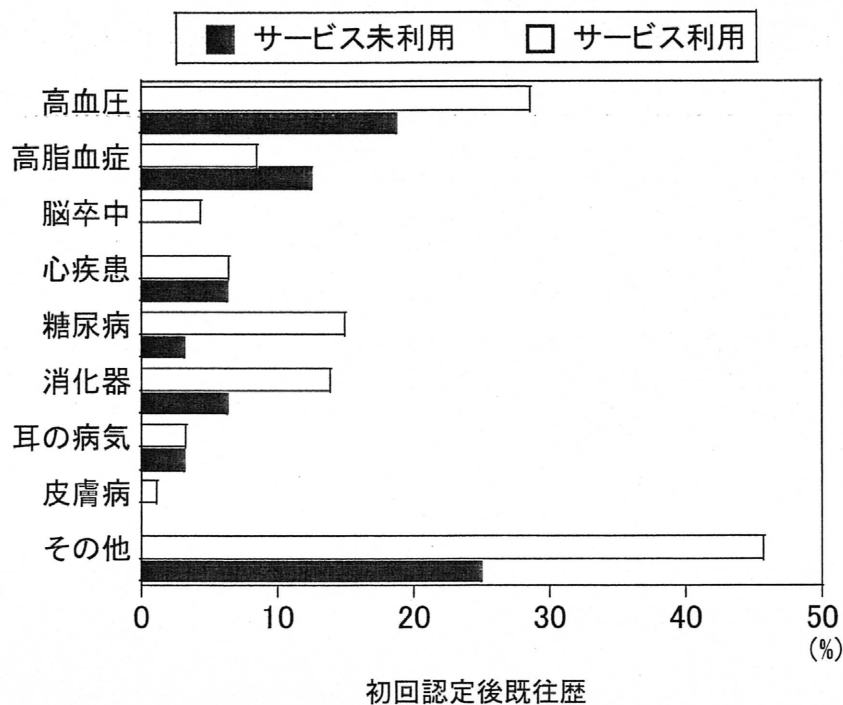


表 3-4-2 初回介護認定後既往歴(人数; 複数回答)

既往歴(認定後)	サービス未利用者	サービス利用者	合計
高血圧	6	27	33
高脂血症	4	8	12
脳卒中	0	4	4
心疾患	2	6	8
糖尿病	1	14	15
消化器	2	13	15
耳の病気	1	3	4
皮膚病	0	1	1
その他	8	43	51
合計	24	119	143

3-4-3 現病歴

図 3-4-3 現病歴（複数回答可であったため、以下の病気にかかっていると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

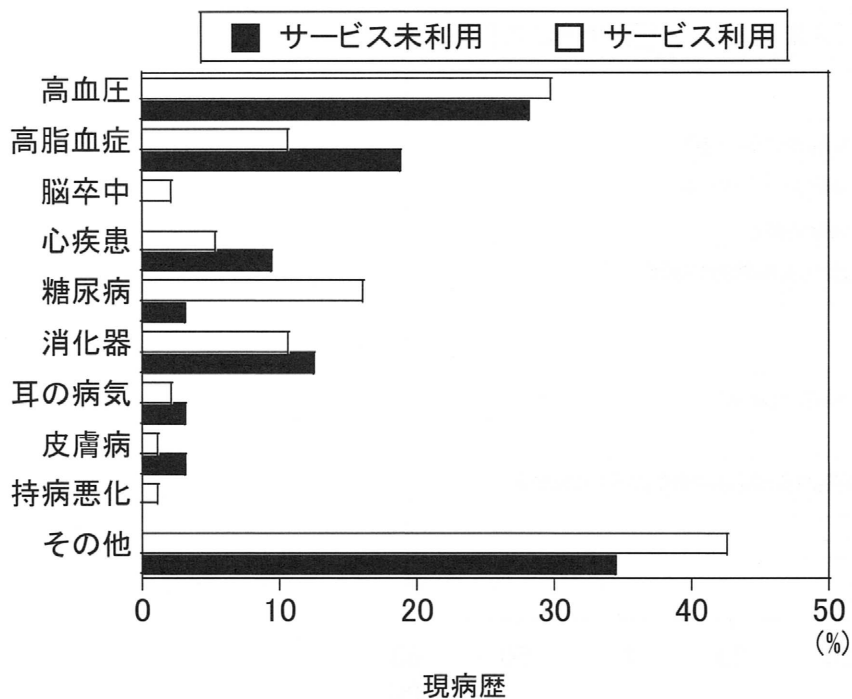


表 3-4-3 現病歴(人数; 複数回答)

現病歴	サービス未利用者	サービス利用者	合計
高血圧	9	28	37
高脂血症	6	10	16
脳卒中	0	2	2
心疾患	3	5	8
糖尿病	1	15	16
消化器	4	10	14
耳の病気	1	2	3
皮膚病	1	1	2
持病悪化	0	1	1
その他	11	40	51
合計	36	114	150

3-4-4 現在の自覚症状

図 3-4-4 現在の自覚症状（複数回答可であったため、以下の自覚症状を有すると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

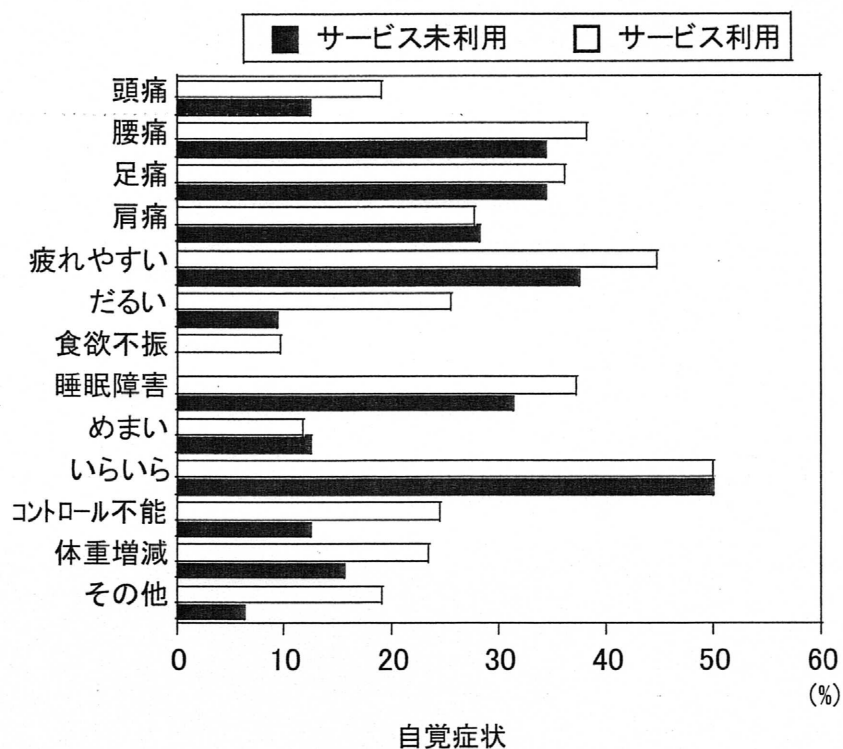


表 3-4-4 現在の自覚症状(人数; 複数回答)

自覚症状	サービス未利用者	サービス利用者	合計
頭痛	4	18	22
腰痛	11	36	47
足痛	11	34	45
肩痛	9	26	35
疲れやすい	12	42	54
だるい	3	24	27
食欲不振	0	9	9
睡眠障害	10	35	45
めまい	4	11	15
いらいら	16	47	63
コントロール不能	4	23	27
体重増減	5	22	27
その他	2	18	20
合計	91	345	436

睡眠障害の内訳(人数; 複数回答)

睡眠障害の内訳	サービス未利用者	サービス利用者	合計
朝覚醒	1	5	6
中途覚醒	6	19	25
入眠障害	2	11	13
その他	1	4	5
合計	10	39	49

○サービス利用者の主たる介護者に、「だるい」という倦怠感が多い傾向にあった。

3-4-5 ストレスを感じることもあるか

図 3-4-5 ストレスを感じるか(ストレス頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

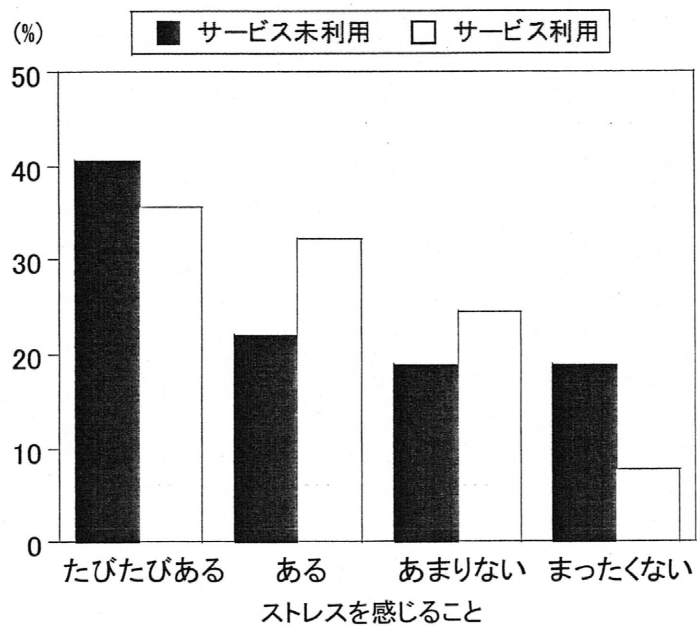


表 3-4-5 ストレスを感じるか(人数)

ストレスを感じること	サービス未利用者	サービス利用者	合計
たびたびある	13	32	45
ある	7	29	36
あまりない	6	22	28
まったくない	6	7	13
合計	32	90	122

欠損値 4 例

○サービス利用者では、ストレスがまったくないという人が少ない傾向にあった。

3-4-6 自分の性格をどう思うか

図 3-4-6 自分の性格（複数回答可であったため、以下の性格を持っていると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

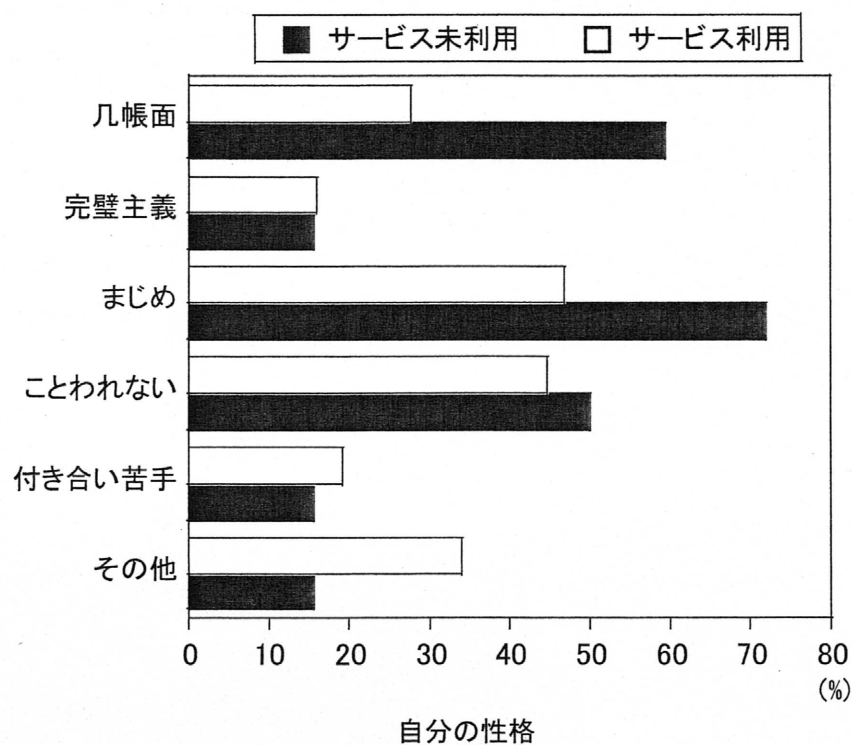


表 3-4-6 自分の性格(人数; 複数回答)

自分の性格	サービス未利用者	サービス利用者	合計
几帳面	19	26	45
完璧主義	5	15	20
まじめ	23	44	67
ことわれない	16	42	58
付き合い苦手	5	18	23
その他	5	32	37
合計	73	177	250

○サービス未利用者は、まじめで几帳面の傾向があった。

3-4-7 初回認定後に仕事の変化はあったか

図 3-4-7 仕事の変化（変化の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

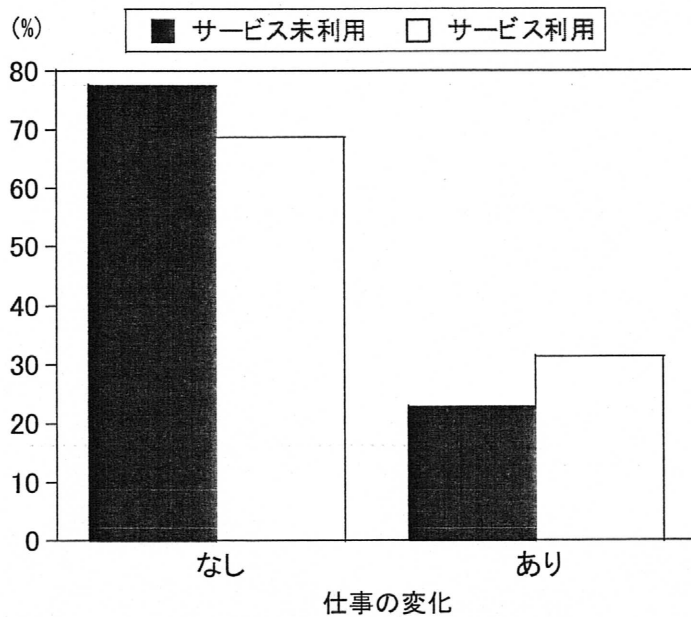


表 3-4-7 仕事の変化(人数)

仕事の変化	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	24	62	86
あり	7	28	35
合計	31	90	121

欠損値 5 例

3-4-8 初回認定後に趣味の変化はあったか

図 3-4-8 趣味の変化（変化の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した）

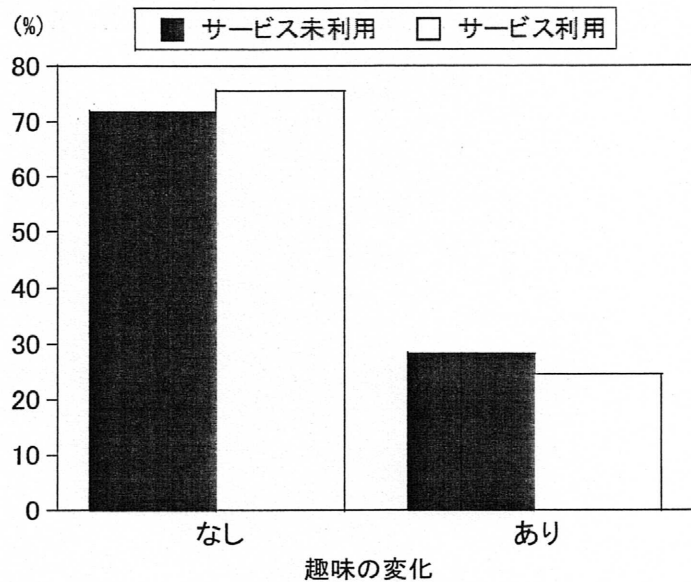


表 3-4-8 趣味の変化(人数)

趣味の変化	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	23	68	91
あり	9	22	31
合計	32	90	122

欠損値 4 例

3-4-9 初回認定後に家族の会話の変化はあったか

図 3-4-9 家族の会話の変化(変化の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

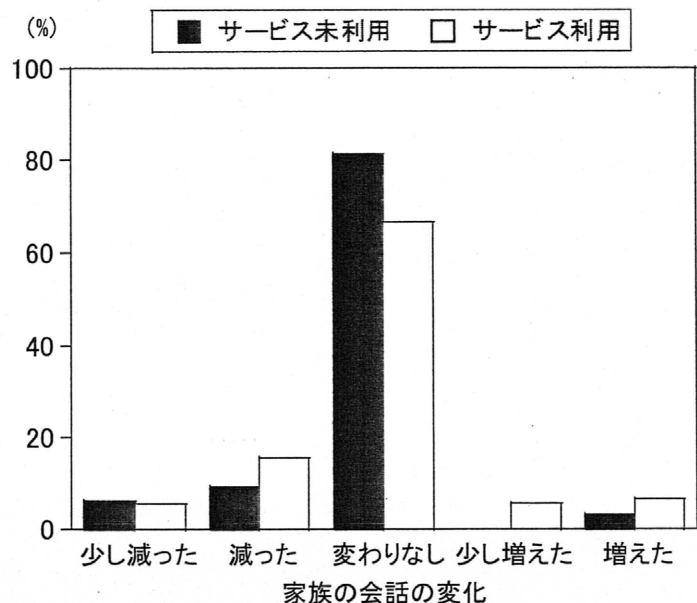


表 3-4-9 家族の会話の変化(人数)

家族の会話	サービス未利用者	サービス利用者	合計
少し減った	2	5	7
減った	3	14	17
変わりなし	26	60	86
少し増えた	0	5	5
増えた	1	6	7
合計	32	90	122

欠損値 4 例

3-4-10 初回認定後に近隣との交流の変化はあったか

図 3-4-10 近隣との交流の変化(変化の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

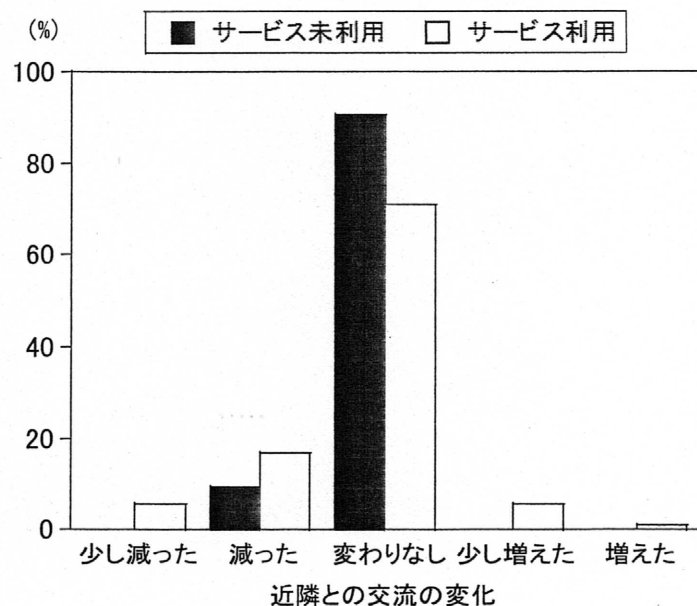


表 3-4-10 近隣との交流の変化(人数)

近隣との交流	サービス未利用者	サービス利用者	合計
少し減った	0	5	5
減った	3	15	18
変わりなし	29	64	93
少し増えた	0	5	5
増えた	0	1	1
合計	32	90	122

欠損値 4 例

3-4-11 現在、介護者が最も困難に感じていること

図 3-4-11-1 被介護者の問題の有無(問題の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

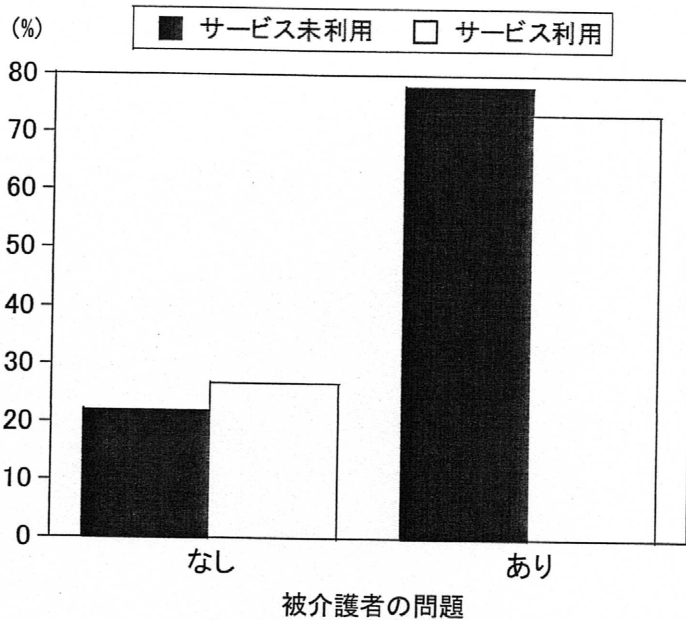


表 3-4-11-1 被介護者の問題の有無(人数)

被介護者の問題	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	7	24	31
あり	25	66	91
合計	32	90	122

欠損値 4 例

図 3-4-11-2 介護者の問題の有無(問題の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

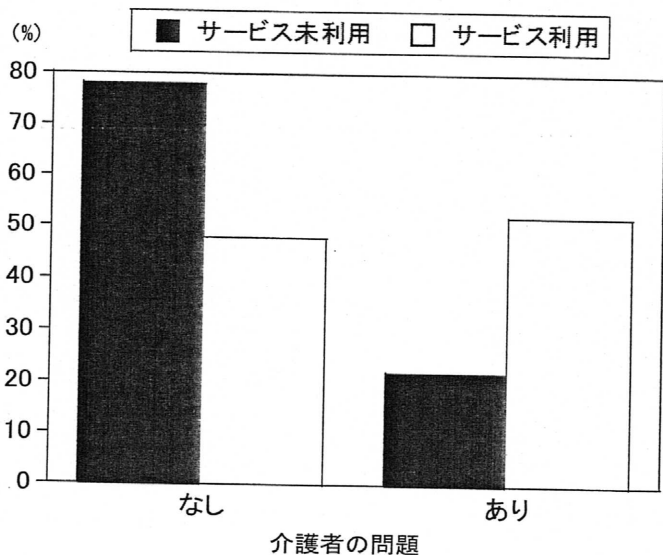


表 3-4-11-2 介護者の問題の有無(人数)

介護者の問題	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	25	43	68
あり	7	47	54
合計	32	90	122

欠損値 4 例

○サービス利用者の主たる介護者は自身の問題でサービス未利用者より困難を感じていた。

図 3-4-11-3 家庭内の問題の有無(問題の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

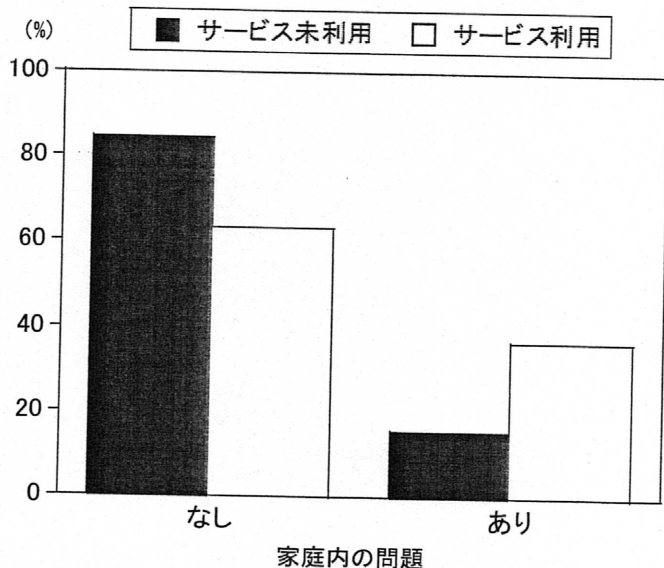


表 3-4-11-3 家庭内の問題の有無(人数)

家庭内の問題	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	27	57	84
あり	5	33	38
合計	32	90	122

欠損値 4 例

○サービス利用者の主たる介護者は、家庭内の問題でサービス未利用者より困難を感じていた。

図 3-4-11-4 経済の問題の有無(問題の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

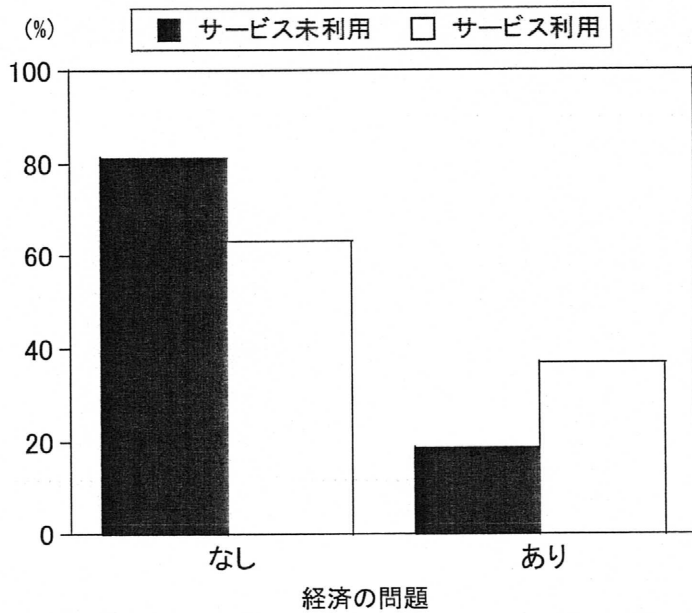


表 3-4-11-4 経済の問題の有無(人数)

経済の問題	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	26	57	83
あり	6	33	39
合計	32	90	122

欠損値 4 例

○サービス利用者の主たる介護者は、経済的な問題でサービス未利用者より困難を感じていた。

図 3-4-11-5 その他の問題の有無(問題の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

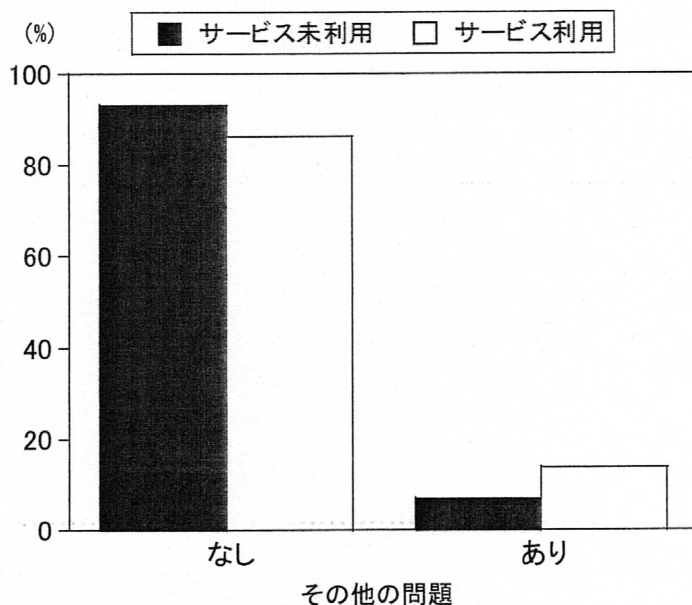


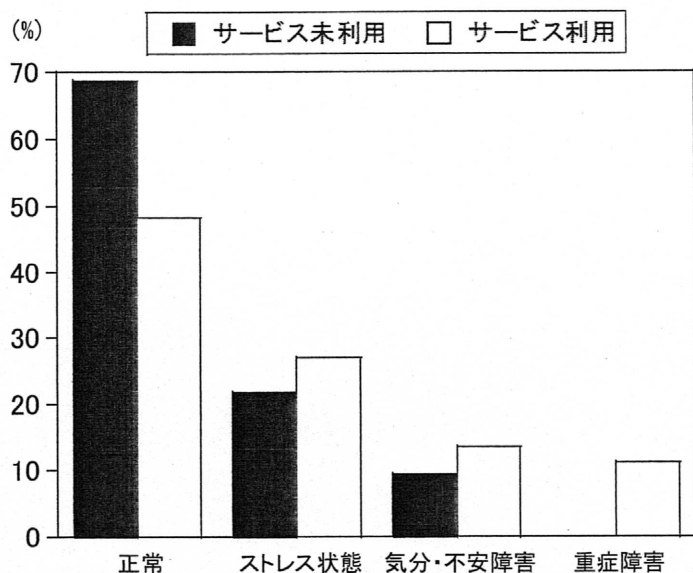
表 3-4-11-5 その他の問題の有無(人数)

その他	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	27	70	97
あり	2	11	13
合計	29	81	110

欠損値 16 例

3-4-12 介護者のメンタルヘルス: K6 スコアによる評価

図 3-4-12 K6 スコアによる介護者の不安・抑うつ度の分布(不安・抑うつ度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)



K6 スコアによる介護者の不安・抑うつ度

表 3-4-12 K6 スコアによる介護者の不安・抑うつ度の分布(人数)

不安・抑うつ度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
正常	22	43	65
ストレス状態	7	24	31
気分・不安障害	3	12	15
重症障害	0	10	10
合計	32	89	121

欠損値 5 例

○不安・抑うつ度の尺度 K6 について

K6は、気分障害・不安障害のスクリーニングのために使用される自記式調査票による尺度である。6項目の合計点を計算(Likert採点法)し、0-4 点は「正常」、5-9 点は「心理的ストレス状態」、10 点以上は「気分不安障害」、13 点以上は「重症障害」とされる。

○介護者の K6 スコアについて

サービス利用者の主たる介護者は、サービス未利用者より不安・抑うつ度が高い傾向にあった。

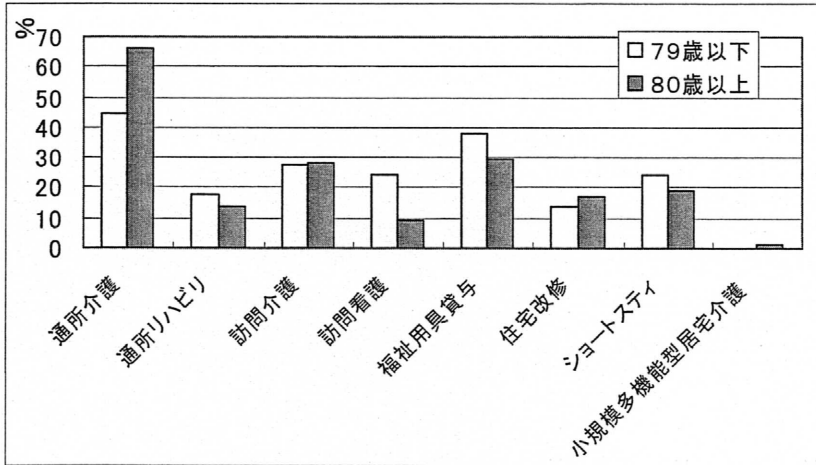
4 サービス

4-1 介護福祉サービスの利用について

表 4-1-1 介護サービスの利用の集計

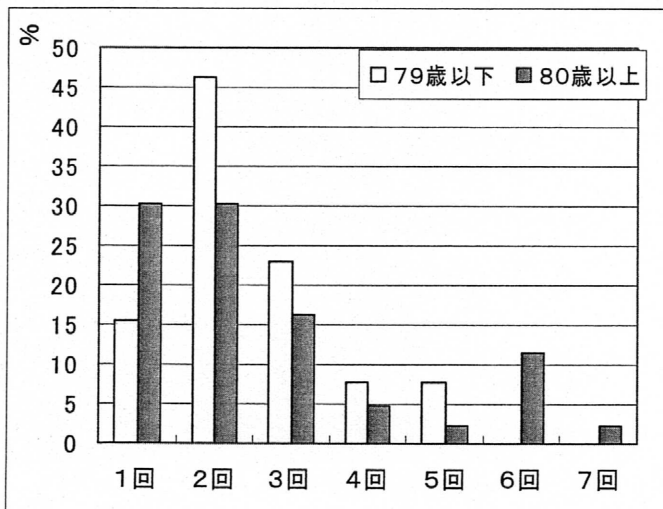
介護サービス	サービス利用者(94人)		サービス未利用者(32人)			
	利用人数		知っている人数		利用希望人数	
通所介護	56	(59.6 %)	29	(90.6 %)	9	(28.1 %)
通所リハビリ	14	(14.9 %)	16	(50.0 %)	4	(12.5 %)
訪問介護	26	(27.7 %)	27	(84.4 %)	1	(3.1 %)
訪問看護	13	(13.8 %)	18	(56.3 %)	1	(3.1 %)
福祉用具貸与	30	(31.9 %)	19	(59.4 %)	0	(0 %)
住宅改修	15	(16.0 %)	18	(56.3 %)	1	(3.1 %)
ショートステイ	51	(54.3 %)	26	(81.3 %)	6	(18.8 %)
小規模多機能居宅介護	1	(1.1 %)	13	(40.6 %)	0	(0 %)
グループホーム	0	(0 %)	14	(43.8 %)	0	(0 %)

図 4-1-1-1 80歳以上と未満に分けた場合の介護サービス利用者の分布



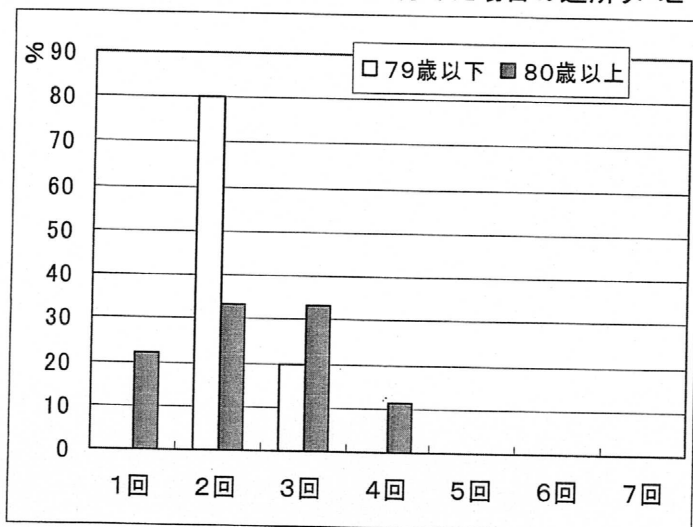
○79歳以下は、身体疾患による認知機能の低下や介護、闘病期間が長期になることが多く、訪問看護やリハビリの需要が高い。通所リハビリ、訪問看護、福祉用具貸与、ショートステイの利用割合は、80歳以上のそれより高い傾向にあった。

図 4-1-1-2 80歳以上と未満に分けた場合の通所介護の利用頻度(回/週)



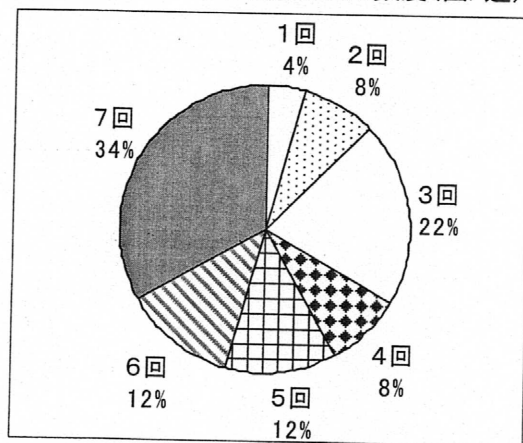
○利用者の 22%が利用回数の増加を希望しており、週2回利用者で3回を希望している者が多かった。満足の理由として、「入浴が満足(80 歳以上では本人・家族とも最多であった)」、「家の事ができる、安心して外出できる、助かる」、「パート、仕事が続けられる」、「会話や知り合いに会える事を楽しんでいる」、「運動になり良い」という声があった。要望として、「認知症専門のデイサービスが欲しい」、「若い人向けのデイサービスが欲しい」、「楽しいデイサービスが欲しい」、「運動等、身体を動かすプログラムのあるデイサービスが欲しい」、「8:30～17:30 までといったように、時間を長くしてほしい」、「利用料金が少しでも安くなると良い」という声があった。

図 4-1-1-3 80 歳以上と未満に分けた場合の通所リハビリテーションの利用頻度(回/週)



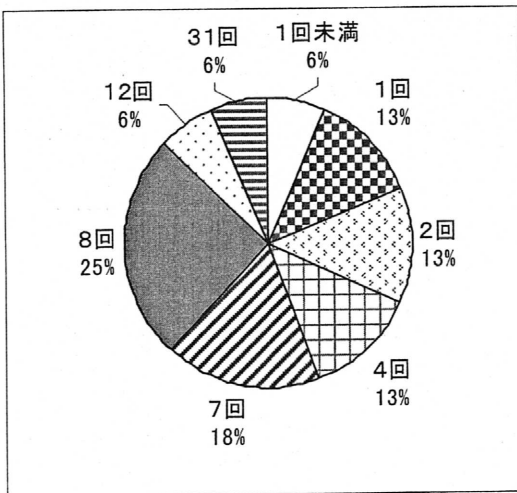
○42.8%が利用回数の増加を希望していた。満足の理由として、「とても楽しい」、「入浴が助かる」という声があった。要望として、「短時間デイケアの回数を増やして欲しい」、「回数を増やしたいけど空きがないのでなんとかして欲しい」、「お金がかかるのでなんとかして欲しい」という声があった。

図 4-1-1-4 訪問介護の利用頻度(回/週)



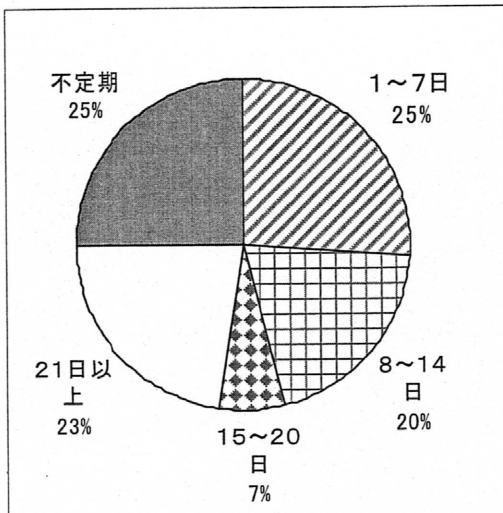
○16.7%が利用回数の増加を希望していた。満足の理由として、「とても助かっている」、「入浴介助が助かる」、「掃除や食事作りに助かる」という声があった。要望として、「年末年始も利用したい」、「夜間も利用したい」、「外出援助を希望する」という声があった。

図 4-1-1-5 訪問看護の利用頻度(日/月)



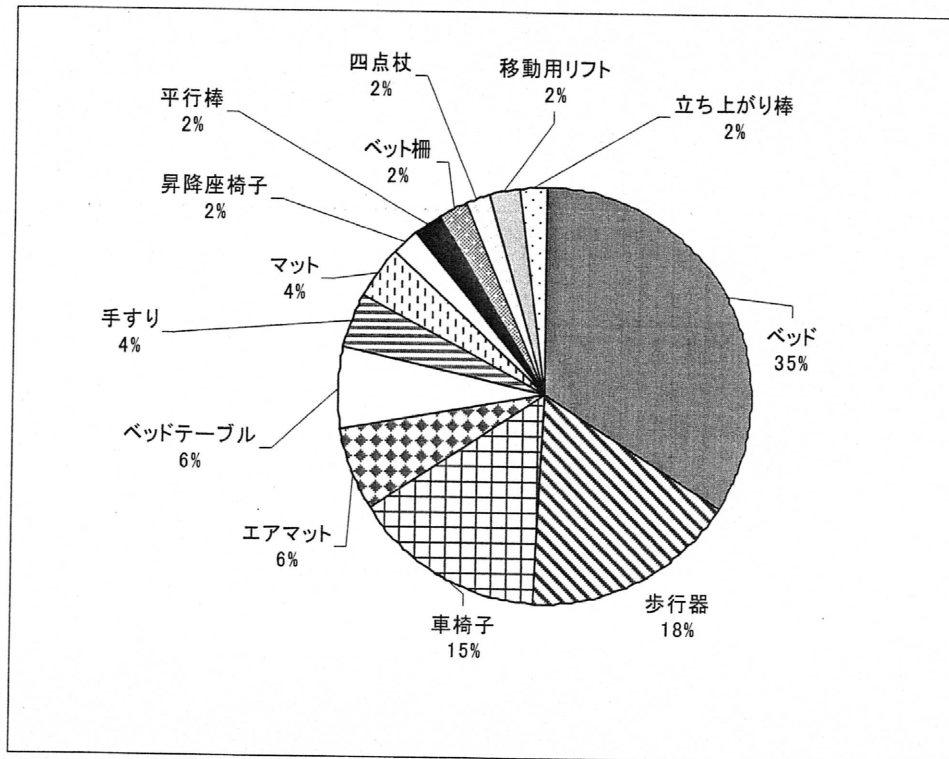
○満足の理由として、「介護方法を学べる」、「介護者の精神的支援」、「リハビリ」、「入浴援助」、「排便管理」という声があった。

図 4-1-1-6 ショートステイの利用頻度(日/月)



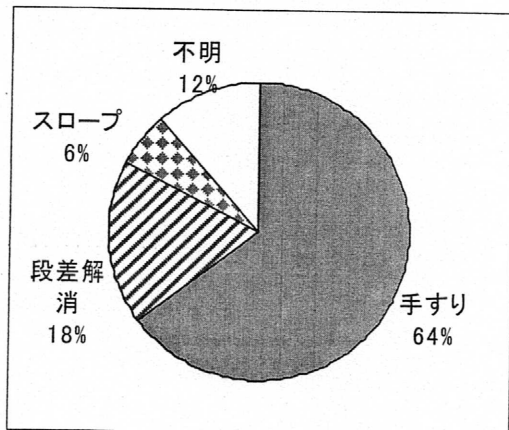
○21.6%が利用日数の増加を希望していた(21日以上の利用は虐待予防ケースや長期入所待機等であり、この群は全て満足と回答)。7日以下の利用者に増加の希望が多かった。満足の理由として、「介護者のストレス解消」、「精神的に楽になれる」、「助かる」、「安心感がある」、「介護者が夜間良く眠れる」、「介護者の体が休まる」、「便利」という声があった。また、「保険内で最大限利用したい」という声もあった。要望として、「お金がかかる」、「本人が嫌がり困る」、「ショートから帰宅後はレベルダウンし慣れるまで大変」という声があった。

図 4-1-1-7 福祉用具貸与の利用状況



○必要な物が使える状態になっており、利用者から「満足」、「助かる」、「便利」と言う声が多かった。

図 4-1-1-8 住宅改修の利用状況



○「毎日利用できて便利」、「安心」、「車椅子で散歩ができる」という声があった。

4-1-1-8 小規模多機能居宅介護の利用状況

1名が利用していた。利用は量、質ともに満足していた。

表 4-1-2 福祉サービスの利用の集計(人数)

福祉サービス	サービス利用者(94人)		サービス未利用者(32人)			
	利用人数		知っている人数		利用希望人数	
日常生活自立支援事業	0	(0 %)	4	(12.5 %)	0	(0 %)
家事援助サービス	1	(1.1 %)	12	(37.5 %)	0	(0 %)
外出援助サービス	41	(43.6 %)	21	(65.6 %)	13	(40.6 %)
介護手当	52	(55.3 %)	8	(25.0 %)	2	(6.3 %)
デイホーム	1	(1.1 %)	13	(40.6 %)	2	(6.3 %)
いきいきサロン	1	(1.1 %)	20	(62.5 %)	2	(6.3 %)
配食サービス	0	(0 %)	16	(50.0 %)	0	(0 %)
認知症介護家族支援講座	5	(5.3 %)	9	(28.1 %)	1	(3.1 %)
介護者の会	4	(4.3 %)	9	(28.1 %)	1	(3.1 %)
徘徊 SOS ネットワーク	3	(3.2 %)	3	(9.4 %)	0	(0 %)

4-2 傾聴ボランティアの利用を希望するか

図 4-2 傾聴ボランティアの利用の希望(希望別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

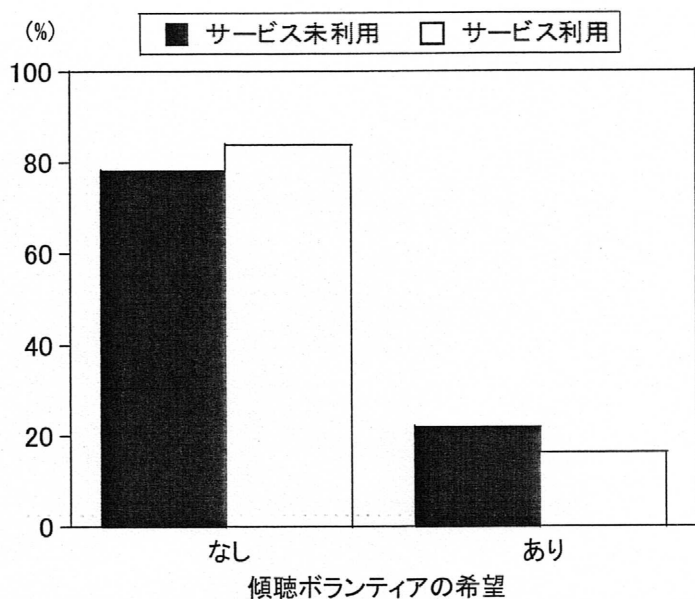


表 4-2 傾聴ボランティアの利用の希望(人数)

希望	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	25	78	103
あり	7	15	22
合計	32	93	125

欠損値1例

4-3 不足していると感じる支援や仕組みについて

4-3-1 現在のサービスで満足か

図 4-3-1 現在のサービスで満足かどうか(満足度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

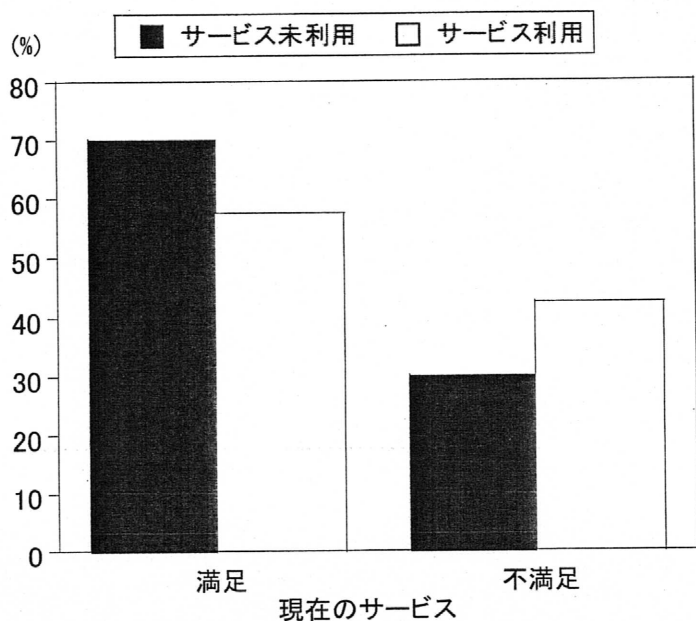


表 4-3-1 現在のサービスで満足かどうか(人数)

現在のサービス	サービス未利用者	サービス利用者	合計
満足	21	53	74
不満足	9	39	48
合計	30	92	122

欠損値 4 例

4-3-2 現在のサービスに不満足である人は何が不満足かという追加質問

図 4-3-2 不満足の商品等(複数回答可であったため、以下の項目に不満足であると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

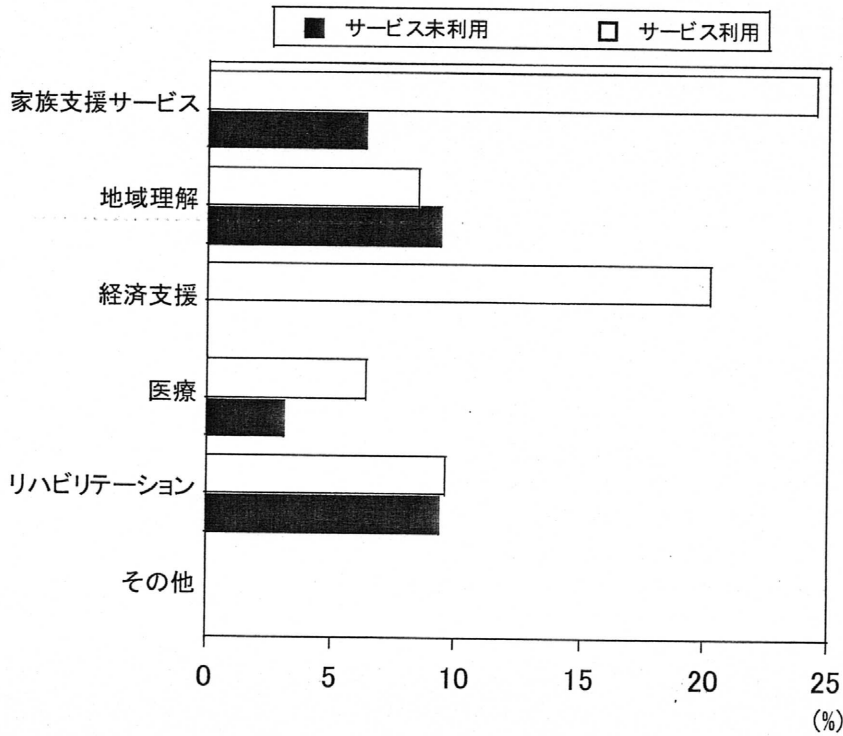
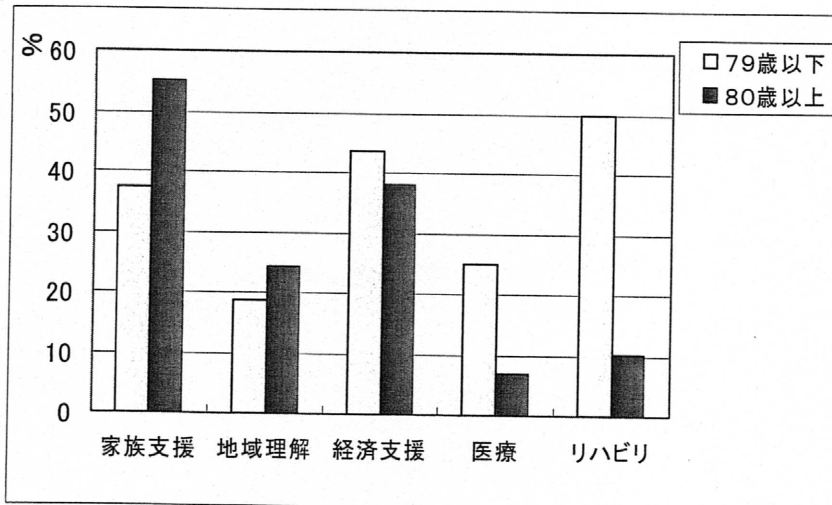


表 4-3-2 不満足サービス等(人数)

不満足サービス等	サービス未利用者	サービス利用者	合計
家族支援サービス	2	23	25
地域理解	3	8	11
経済支援	0	19	19
医療	1	6	7
リハビリテーション	3	9	12
その他	0	0	0
合計	9	65	74

図 4-3-3 80 歳以上と未満に分けた場合の不満足サービス等の割合(複数回答可であったため、以下の項目に不満足であると答えた人数を 80 歳以上群・未満群の全体に対する割合で示し、80 歳以上群・未満群で比較した)



○79 歳以下は先の不安が大きいためか、医療とリハビリへのニーズが高く、今後の課題と思われた。その他に希望するサービスとして、「短時間のあずかり所」、「地域の話し相手や見守り」、「配食チケット」、「外出ボランティア」、「無料の高齢者版ワンパーク」、「介護者のカウンセリング」という声があった。

5 被介護者の初回介護認定以前の生活

5-1 被介護者の基礎疾患

図 5-1-1 基礎疾患の有無(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

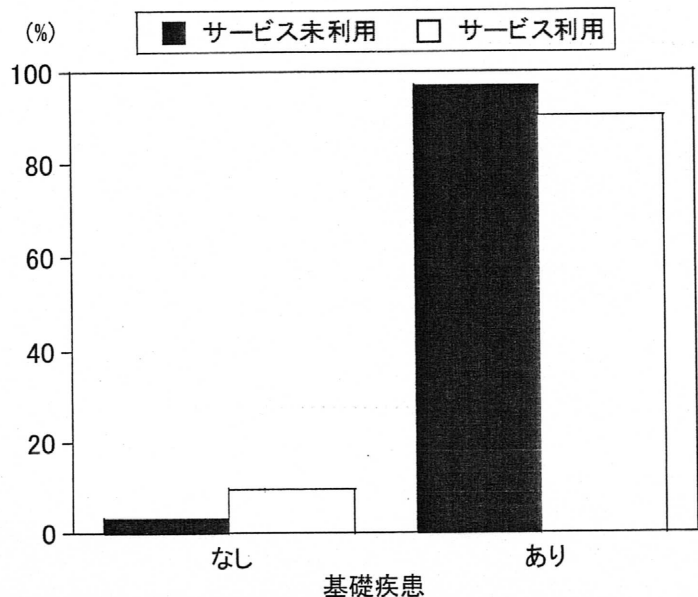


表 5-1-1 基礎疾患の有無(人数)

基礎疾患	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	1	9	10
あり	31	85	116
合計	32	94	126

図 5-1-2 基礎疾患の内訳(複数回答可であったため、以下の基礎疾患をもっていると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

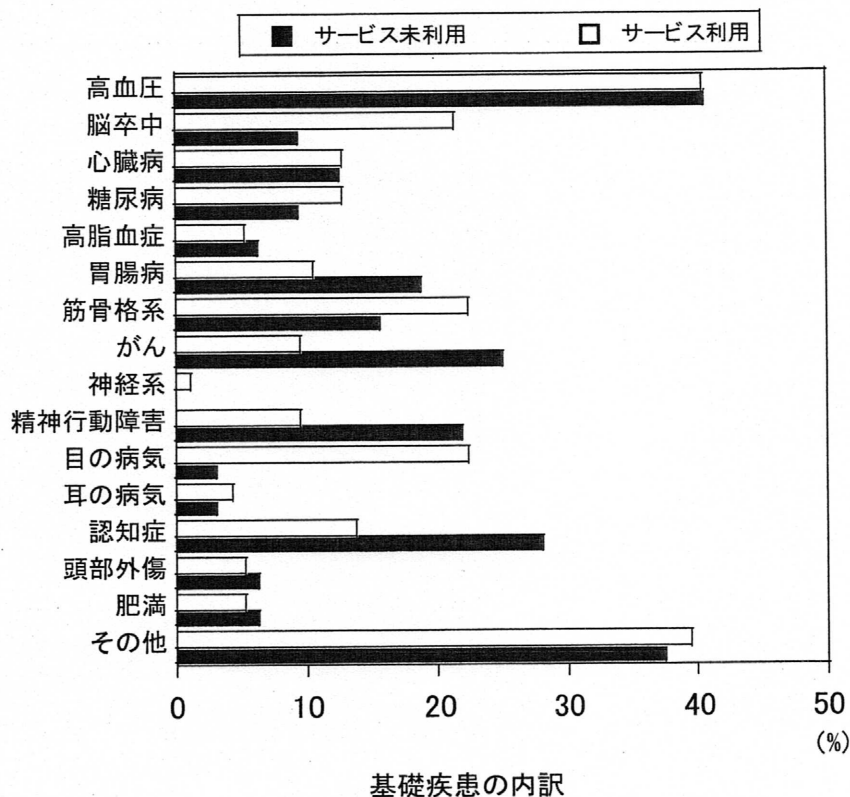


表 5-1-2 基礎疾患の内訳(人数; 複数回答)

基礎疾患	サービス未利用者	サービス利用者	合計
高血圧	13	38	51
脳卒中	3	20	23
心臓病	4	12	16
糖尿病	3	12	15
高脂血症	2	5	7
胃腸病	6	10	16
筋骨格系	5	21	26
がん	8	9	17
神経系	0	1	1
精神行動障害	7	9	16
目の病気	1	21	22
耳の病気	1	4	5
認知症	9	13	22
頭部外傷	2	5	7
肥満	2	5	7
その他	12	37	49
合計	78	222	300

5-2 被介護者の飲酒歴

5-2-1 飲酒歴

図 5-2-1 飲酒歴(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

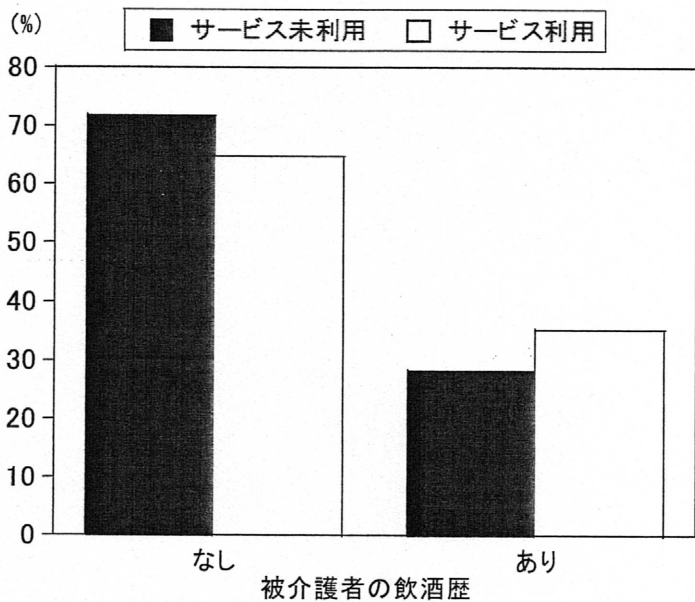


表 5-2-1 飲酒歴はあるか(人数)

飲酒歴	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	23	61	84
あり	9	33	42
合計	32	94	126

5-2-2 平均飲酒年数

○飲酒歴ありの人の平均飲酒年数は、サービス未利用者で 53.4 年、サービス利用者で 45.4 年であった。

5-2-3 飲酒歴ありの人の飲酒頻度

図 5-2-3 飲酒頻度(頻度別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

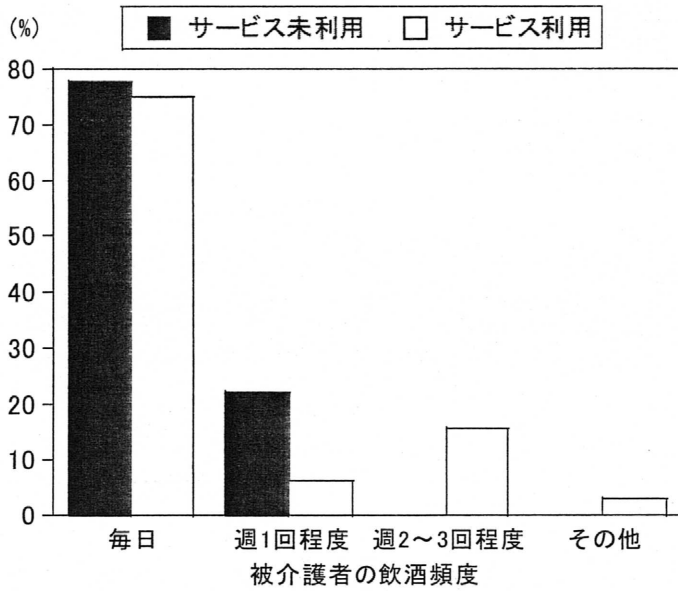


表 5-2-3 飲酒頻度(人数)

飲酒頻度	サービス未利用者	サービス利用者	合計
毎日	7	24	31
週1回	2	2	4
週2, 3回	0	5	5
その他	0	1	1
合計	9	32	41

欠損値 1 例

5-2-4 飲酒歴ありの人の飲酒量

図 5-2-4 飲酒量(量別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

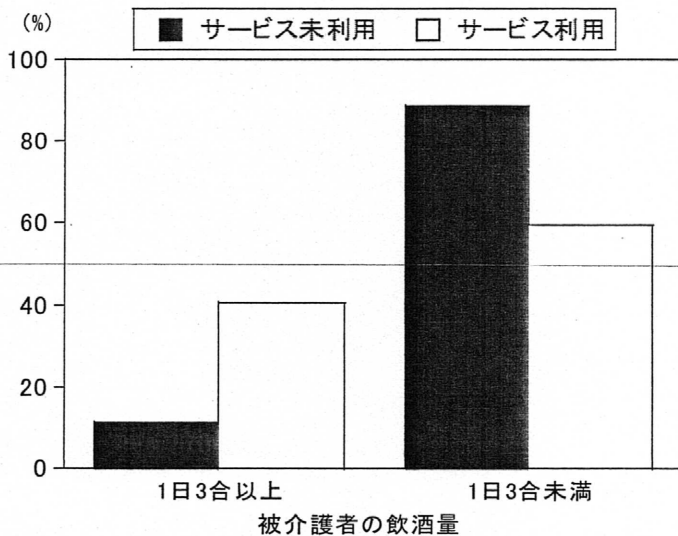


表 5-2-4 飲酒量(人数)

飲酒量	サービス未利用者	サービス利用者	合計
1日3合以上	1	13	14
1日3合未満	8	19	27
合計	9	32	41

欠損値 1 例

5-3 被介護者の喫煙歴

図 5-3 喫煙歴(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

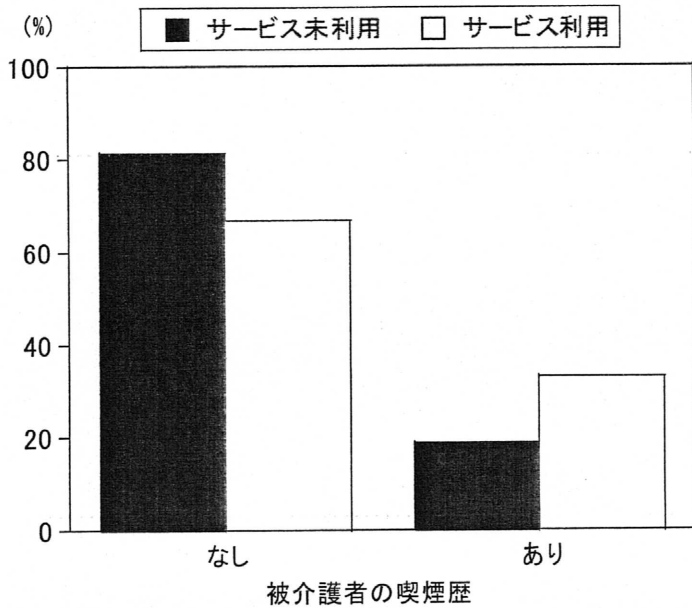


表 5-3 喫煙歴はあるか(人数)

喫煙歴	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	26	63	89
あり	6	31	37
合計	32	94	126

○喫煙者の1日の本数の平均値は、サービス未利用者で21本、サービス利用者も21本であった。
 ○喫煙者の喫煙年数の平均値は、サービス未利用者で51.3年、サービス利用者で41.2年であった。

5-4 被介護者の人生のイベント

図 5-4-1 人生のイベント(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

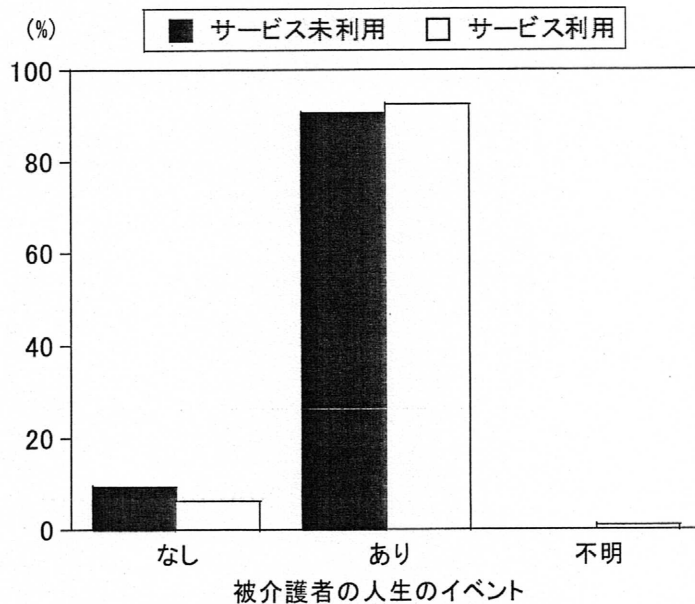


表 5-4-1 人生のイベント(人数)

人生のイベント	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	3	6	9
あり	29	87	116
不明	0	1	1
合計	32	94	126

図 5-4-2 人生のイベントの内訳(複数回答可であったため、以下のイベントを経験したと答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

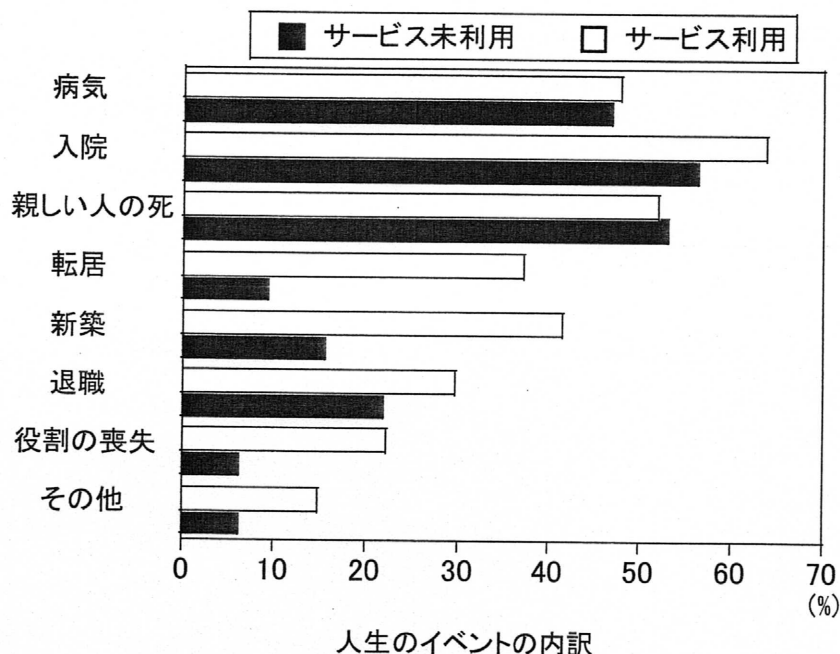


表 5-4-2 人生のイベントの内訳(人数; 複数回答)

人生のイベント	サービス未利用者	サービス利用者	合計
病気	15	45	60
入院	18	60	78
親しい人の死	17	49	66
転居	3	35	38
新築	5	39	44
退職	7	28	35
役割の喪失	2	21	23
その他	2	14	16
合計	69	291	360

○サービス利用者は、サービス未利用者より転居、新築、退職、役割の喪失をイベントとして多く申告していた。

※ 認知症発症に関連性があると思われるイベントの有無として聞き取りをしなかったため、発症要因の推測は困難な結果となった。

5-5 被介護者の特異な体験

図 5-5 特異な体験はあるか(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

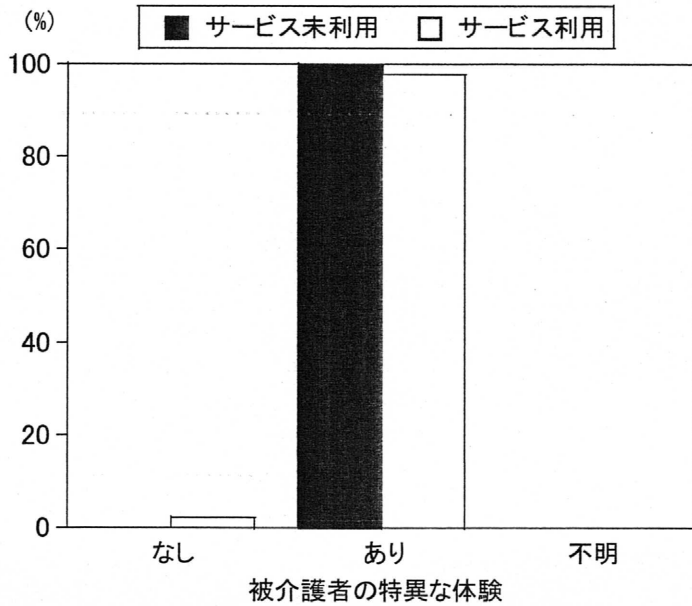


表 5-5 特異な体験はあるか(人数)

特異な体験	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	0	2	2
あり	32	92	124
不明	0	0	0
合計	32	94	126

5-5-1 特異な体験の中で自分が体験

図 5-5-1 自分の体験の内訳(複数回答可であったため、以下の体験があると答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

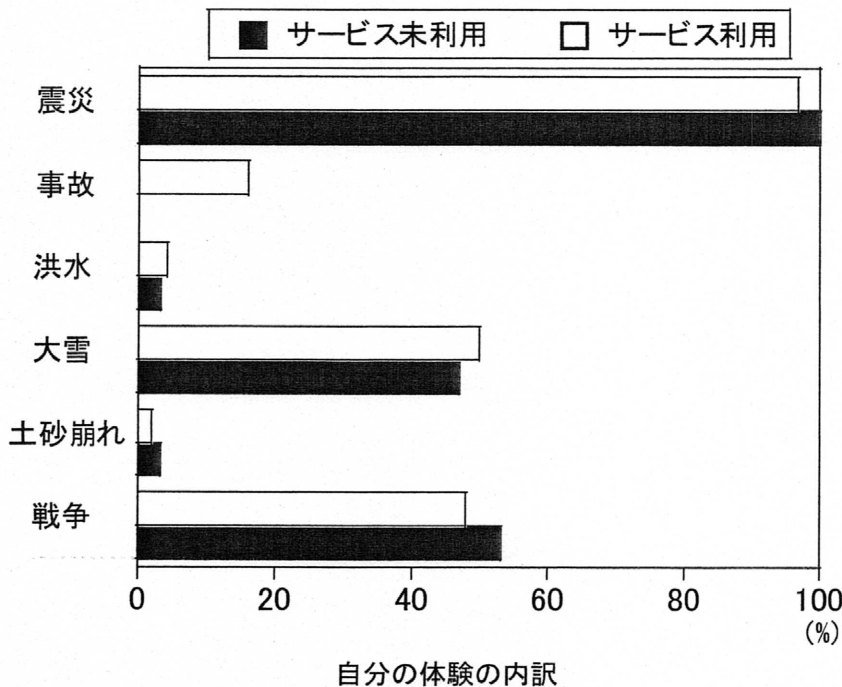
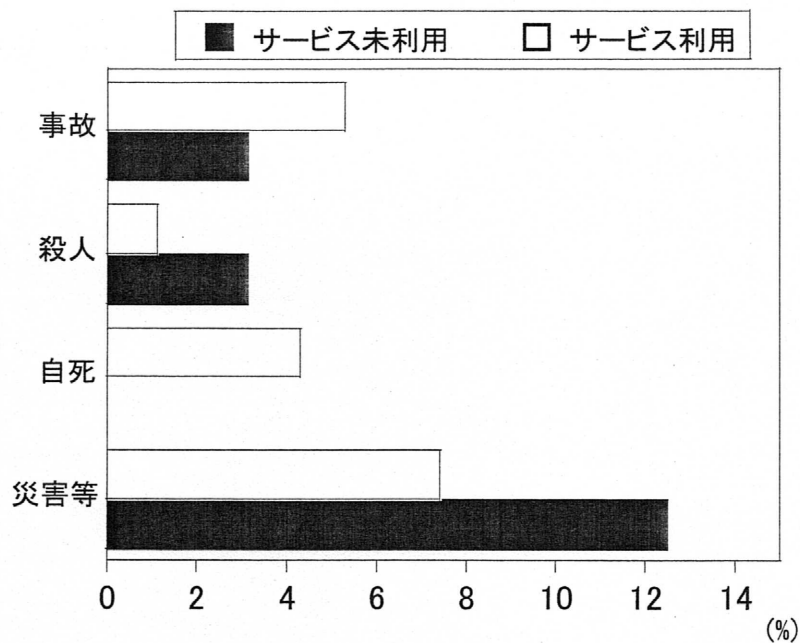


表 5-5-1 自分の体験の内訳(人数; 複数回答)

自分の体験	サービス未利用者	サービス利用者	合計
震災	32	91	123
事故	0	15	15
洪水	1	4	5
大雪	15	47	62
土砂崩れ	1	2	3
戦争	17	45	62
合計	66	204	270

5-5-2 特異な体験の中で「現場を目撃」

図 5-5-2 「現場を目撃」の内訳(複数回答可であったため、以下の体験をしたと答えた人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)



「現場を目撃」の内訳

表 5-5-2 「現場を目撃」の内訳(人数; 複数回答)

現場を目撃	サービス未利用者	サービス利用者	合計
事故	1	5	6
殺人	1	1	2
自死	0	4	4
災害等	4	7	11
合計	6	17	23

5-6 被介護者の認定以前の職業について

図 5-6-1 一番勤務年数の長い職業(職業別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

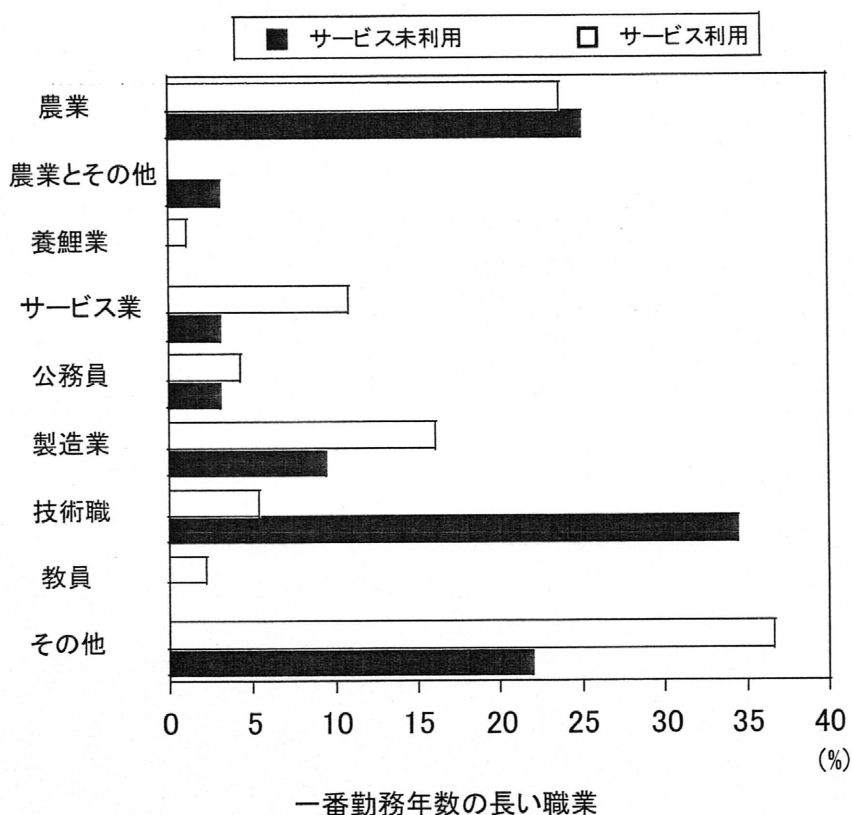


表 5-6-1 一番勤務年数の長い職業(人数)

職業	サービス未利用者	サービス利用者	合計
農業	8	22	30
農業とその他	1	0	1
養鯉業	0	1	1
サービス業	1	10	11
公務員	1	4	5
製造業	3	15	18
技術職	11	5	16
教員	0	2	2
その他	7	34	41
合計	32	93	125

欠損値 1 例

図 5-6-2 最後の職業(職業別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

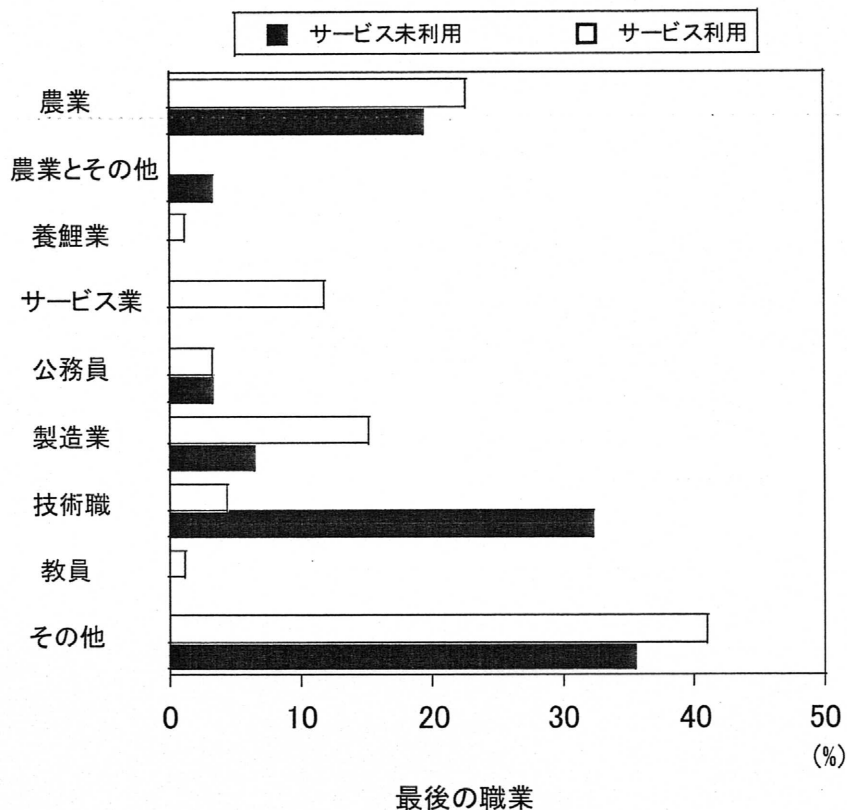


表 5-6-2 最後の職業(人数)

職業	サービス未利用者	サービス利用者	合計
農業	6	21	27
農業とその他	1	0	1
養鯉業	0	1	1
サービス業	0	11	11
公務員	1	3	4
製造業	2	14	16
技術職	10	4	14
教員	0	1	1
その他	11	38	49
合計	31	93	124

欠損値 2 例

5-7 被介護者の楽しみ

図 5-7 「楽しみ」の欄に記載があったかどうか(記載の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

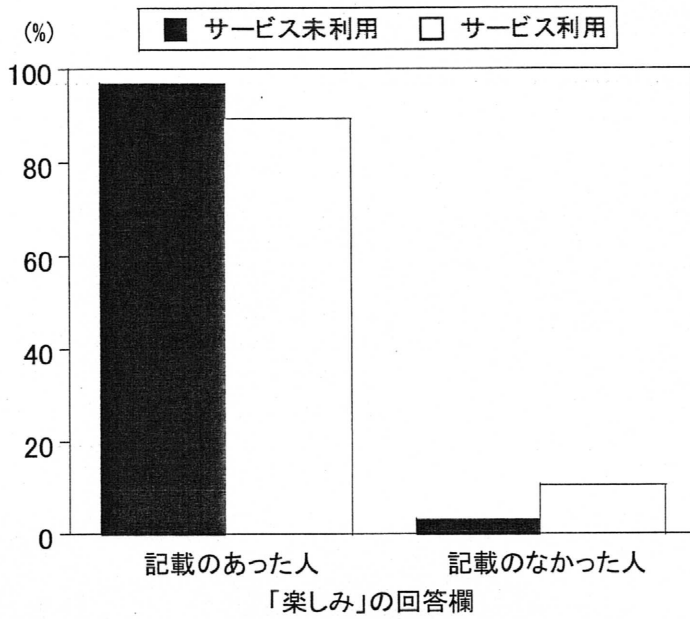


表 5-7 「楽しみ」の欄に記載があったかどうか(人数)

「楽しみ」の回答	サービス未利用者	サービス利用者	合計
記載のあった人	31	84	115
記載のなかった人	1	10	11
合計	32	94	126

6 その他

6-1 中越大震災の体験

図 6-1 中越大震災体験の有無(有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

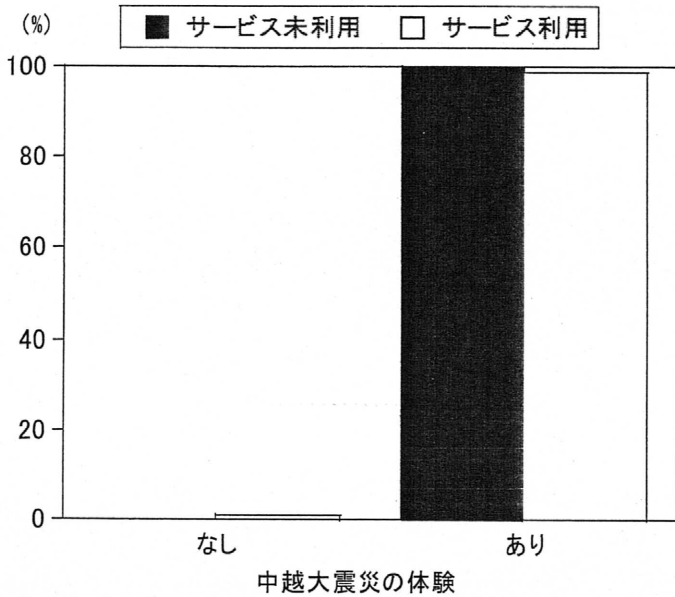


表 6-1 中越大震災体験の有無(人数)

中越大震災の体験	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	0	1	1
あり	32	93	125
合計	32	94	126

6-1-1 家屋被害(認定)

図 6-1-1 家屋被害(被害別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

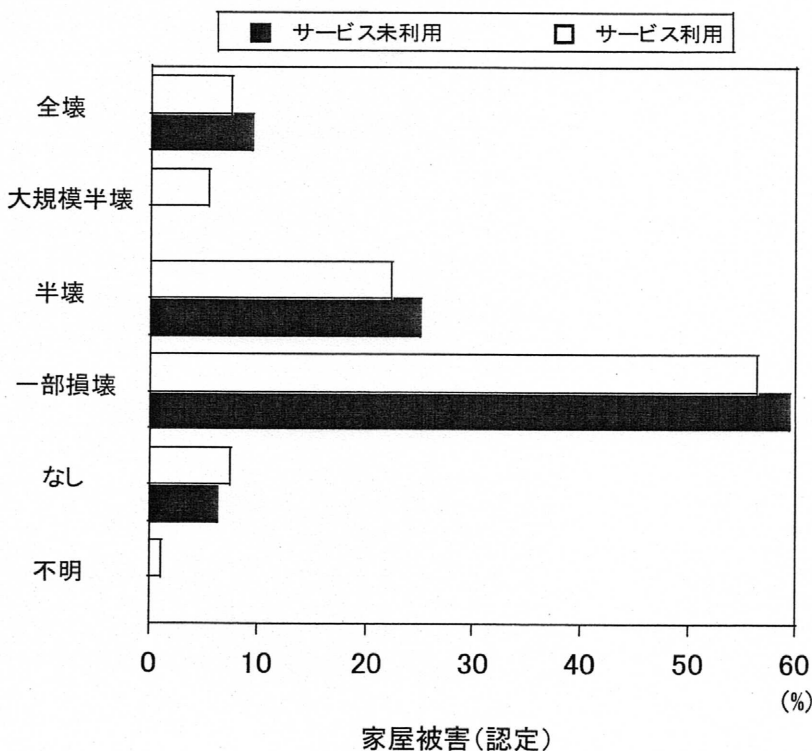


表 6-1-1 家屋被害(人数)

家屋被害	サービス未利用者	サービス利用者	合計
全壊	3	7	10
大規模半壊	0	5	5
半壊	8	21	29
一部損壊	19	53	72
なし	2	7	9
不明	0	1	1
合計	32	94	126

6-1-2 家屋改修状況

図 6-1-2 家屋改修(改修別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

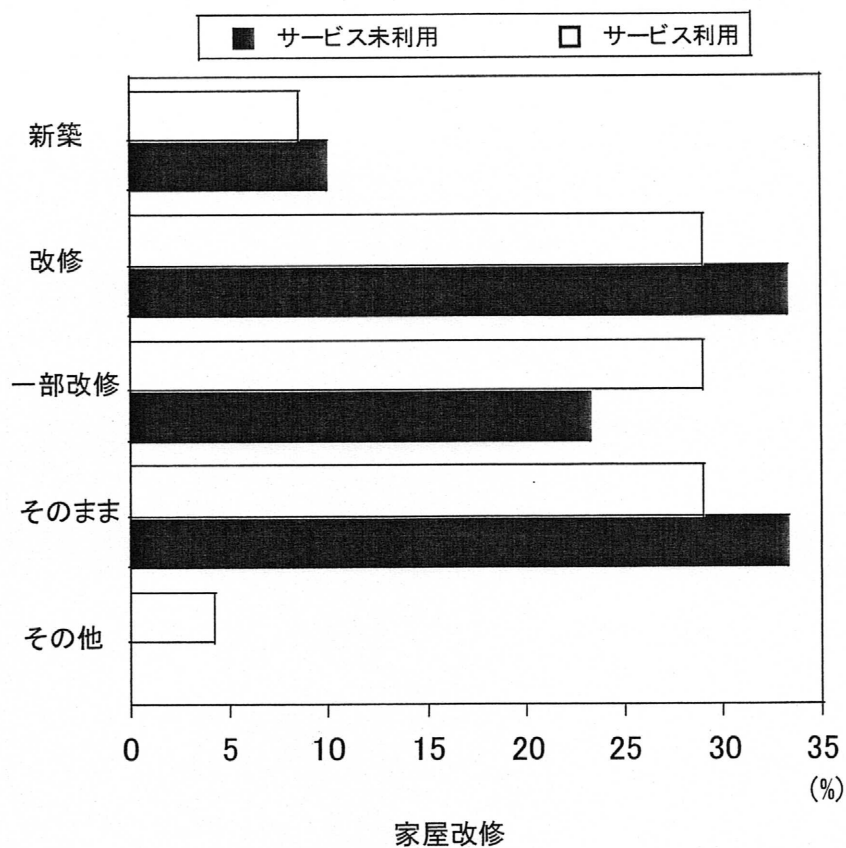


表 6-1-2 家屋改修(人数)

家屋改修	サービス未利用者	サービス利用者	合計
新築	3	8	11
改修	10	27	37
一部改修	7	27	34
そのまま	10	27	37
その他	0	4	4
合計	30	93	123

欠損値 3 例

6-1-3 現在の住まい

図 6-1-3 現在の住まい(住まい別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

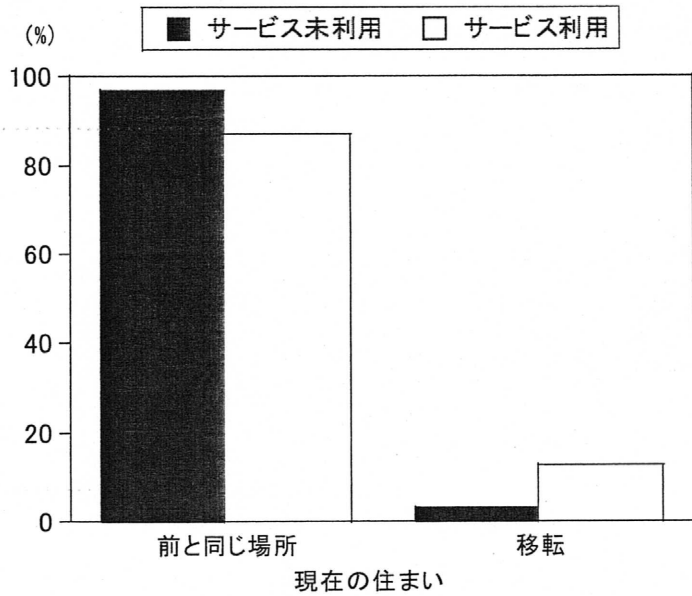


表 6-1-3 現在の住まい(人数)

現在の住まい	サービス未利用者	サービス利用者	合計
前と同じ場所	30	81	111
移転	1	12	13
合計	31	93	124

欠損値 2 例

6-1-4 家族構成の変化

図 6-1-4 家族構成の変化(変化の有無別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

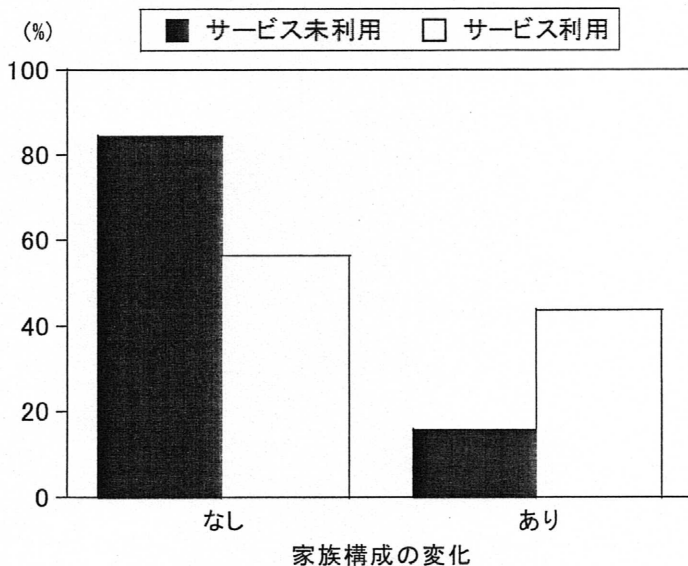


表 6-1-4 家族構成の変化(人数)

家族構成の変化	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	27	53	80
あり	5	41	46
合計	32	94	126

○サービス利用者は、大震災後、家族構成が変化した傾向にあった。

6-2 虐待の可能性について調査員が感じたこと

図 6-2 虐待の可能性(虐待の可能性別人数を未利用群・利用群の全体に対する割合で示し、未利用群・利用群で比較した)

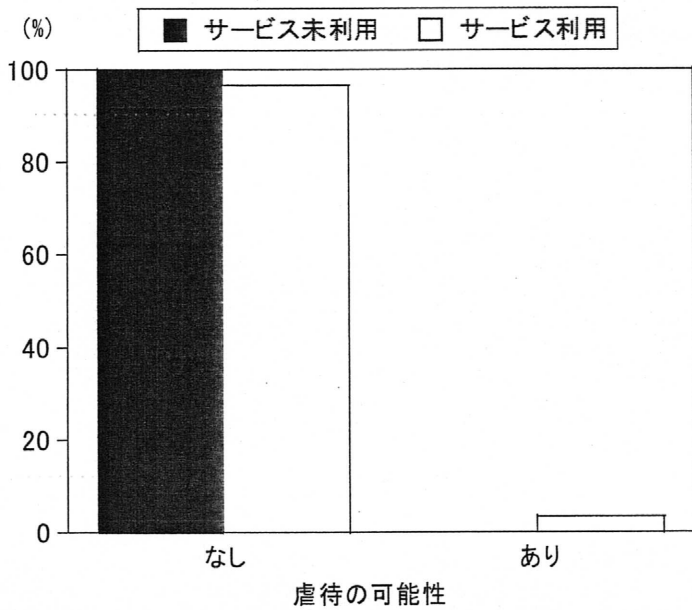


表 6-2 虐待の可能性(人数)

虐待の可能性	サービス未利用者	サービス利用者	合計
なし	32	84	116
あり	0	3	3
合計	32	87	119

欠損値 7 例

表 6-2-1 虐待の可能性ありの場合、その種類(人数; 複数回答)

虐待の可能性ある場合	サービス未利用者	サービス利用者	合計
身体虐待	0	1	1
放任・放棄	0	1	1
心理的虐待	0	1	1
性的虐待	0	0	0
経済的虐待	0	1	1
合計	0	4	4

VI 結果のまとめ

結果の所見を以下にまとめる。

1. サービス利用者は、サービス未利用者と比較して介護度が高い傾向にあった。
2. サービス利用者は、サービス未利用者と比較して認知症状が重い傾向にあった。
3. サービス利用者は、サービス未利用者と比較して排泄介護困難が多い傾向にあった。
4. 息子が主たる介護者の場合はサービスを利用する率が高く、配偶者、娘、息子の配偶者のように女性が主たる介護者の場合はサービスを利用する率が低い傾向にあった。
5. サービス利用者の主たる介護者は、サービス未利用者と比較して若い傾向にあった。
6. サービス利用者の主たる介護者は、(相談相手はいても)協力者がいない傾向にあった。
7. 介護認定後、主たる介護者の消化器病、糖尿病、高血圧が増えているかもしれない。
8. サービス利用者の主たる介護者に、「だるい」という倦怠感が多い傾向にあった。
9. サービス利用と介護者の性格には関連が見られるようで、サービス未利用者は、まじめで几帳面の傾向があった。
10. サービスを利用する介護者は、自身の問題、家庭内の問題、経済的な問題で困難を感じていた。
11. サービス利用者の主たる介護者は、サービス未利用者より不安・抑うつ度が高い傾向にあった。
12. サービスの不満足感にサービス利用者と未利用者に明確な違いが見られる(特に家族支援・地域理解・経済支援)。
13. サービス利用者は、大震災後、家族構成が変化した傾向にあった。

VII 今後の取り組みについて

今回の調査結果を踏まえ、以下の(1)から(5)の課題を重点的に取り組む。

(1) 重点支援ケースを把握し、ネットワークの強化や対応力向上に活かす

徘徊リスクを持つ認知症高齢者が2割近く存在することが明らかになったため、地域を含めた関係者のつながりを強化する必要がある。具体的には、徘徊 SOS ネットワークの構築をする。また、重点支援ケースを台帳化し、全市の状況を把握するなど、重点支援に該当する在宅患者を把握する体制を整える。

(2) 要望の多い認知症リハビリテーションの強化を検討する

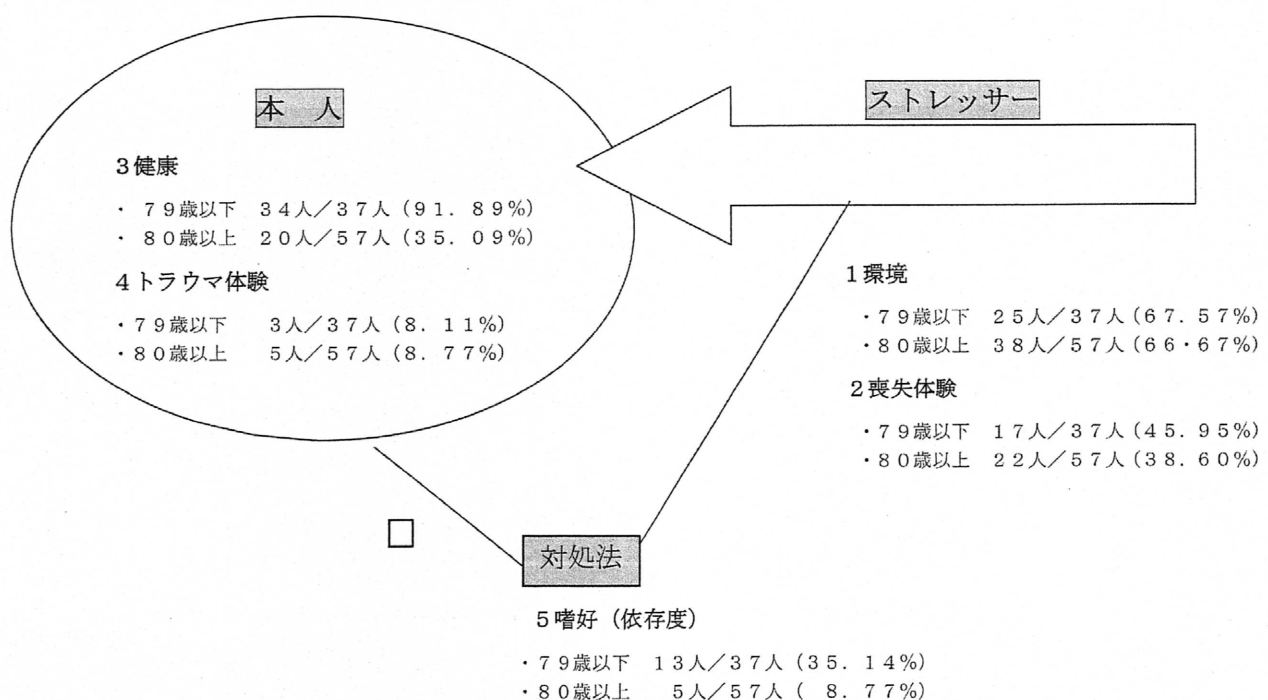
(3) 介護者のうつ予防と介護者支援の充実を図り、虐待を予防する

息子による介護が増えている事やストレス性疾患が多く見られることが明らかになった。介護者支援策の一環として、認知症介護家族支援講座や傾聴ボランティアの育成を継続する。また、資源として活用できるようPRや関係者の連携を図っていく。

(4) 認知症発症の要因を探り予防活動に役立てる

ライフイベント、健康、ストレス対処から発症を予測できるかもしれない。現段階で予測できる状況として、次のような傾向があった。79歳以下は、「基礎疾患の影響が大きい」、「基礎疾患に複数の要因が重なって発症している」、「ストレス対処法がアルコールや喫煙、甘味等に偏りやすい」という傾向が見られた。また、80歳以上は、環境の変化によるものが多いという傾向が見られた。そこで、脳への過重なストレスとして、①環境(住居、家族の病気、家族関係、対人交流)、②喪失体験(自宅、家族の死、仕事や役割、はりあい)、③健康(病気の発症、持病の悪化や放置、怪我)、④トラウマ体験(家族からの暴力、震災の恐怖)、⑤嗜好(アルコール、タバコ、糖分、パチンコ等ギャンブル)を想定して集計し、図7のような模式図を仮説として作成した。このように年齢の影響も大きいと考えられ、今後、79歳以下と80歳以上に分けて発症要因の分析を試みる。

図7 重点支援ケースにおける集計を基にしたストレス、本人、ストレス対処の関係の模式図



一次予防として生活習慣病予防、心の健康づくり、二次予防として基礎疾患の治療の継続、三次予防としてケアの向上や地域を含めたソーシャルネットワークの構築が重要である。

(5) 震災との関連を探る

災害時病気を発症した人は、医療放置や健康を気遣う事のない人たちであったと考えられる。

VIII おわりに

平成16年10月23日に発生した新潟県中越大震災は被災者約10万人、住宅被害は約12万棟を超える大規模災害となりました。

震災は一瞬にして多くの人々の生活を変えてしまいましたが、全国の皆様からの多大なる御支援と御協力をいただき、今では目覚ましい復興を遂げております。

こころのケアセンターでは、これまで小千谷市からの要望を受け、こころのケア事業について支援を行ってまいりました。

このたび小千谷市とこころのケアセンターでは、高齢者支援の対策と充実を図るため要介護高齢者の認知症実態調査を行い、その第一報をまとめることができました。

本報告書を上梓するにあたって、解析していただいた新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域予防医学講座 社会・環境医学分野 教授 中村和利 氏に心からお礼申し上げます。

当報告書が被災者支援に活用していただければ幸いに存じます。

今後も皆様の一層の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

平成23年2月

新潟県小千谷市保健福祉課
新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンター

資 料

認知症重点支援ケース調査票

調査員氏名 _____

I 基本属性

(1) 氏名 _____ 性別 男・女 _____ (2) 被保険者 No _____

(3) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日(_____ 歳) (4) 住所 小千谷市 _____

(5) 婚姻状況 1. 既婚 2. 離婚 3. 死別 4. 未婚 5. その他(_____)

(6) 教育年数 _____ 年 最終学歴 (_____)

(7) 家族構成

1. 独居 2. 家族など同居 3. その他



本人を含めて何人家族(_____ 人)

1. 配偶者 2. 息子・娘 3. 息子・娘の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

初回介護認定日 平成 _____ 年 _____ 月

(8) 要介護度 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3
6. 要介護4 7. 要介護5

(9) 日常生活自立度 1. J 2. A 3. B 4. C

(10) 認知症高齢者日常生活自立度

1. I 2. IIa 3. IIb 4. IIIa 5. IIIb 6. IV 7. V 8. M

(11) 経済状況

(11)-1 年金の種類 1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金なし) 3. 厚生年金(企業年金あり)
4. 共済年金 5. 老齢福祉年金のみ 6. その他(_____)

(11)-2 家計の主な収入(複数可)

1. サラリー 2. 年金 3. 農業収入 4. 自営業 5. その他(_____)

Ⅱ 医療

(1) 認知症診断名 1.アルツハイマー型 2.脳血管性 3.前頭側頭型 3.レビー小体型 4.その他 5.不明

(2) 発症年齢 () 才)

(3) 認知症以外の疾病 1. 無 2. 有 (医療機関名)

(4) 本人の状況

(4)-1 心理・行動症状について

症 状	認定調査 No	ない	時々ある	ある	症 状
			1カ月に1回以上で 1週間に1回未満	少なくとも1週間に 1回以上	
被害的(盗られ妄想等)	4-1				
作話(実際に体験していないことを実際にあったように作られて話す)	4-2				
昼夜逆転	4-4				
徘徊(目的もなく歩き回る)					
落ち着かない	4-8				
1人で出たがる	4-9				
ひどい物忘れ(日常生活に支障があるほどの)	4-12				

症 状	認定調査	ない	時々ある	ある	症状
	No		1カ月に1回以上で 1週間に1回未満	少なくとも1週間に1回以上	
暴言・暴力					
異食(食物でない物や、腐ったものでも、何でも口に入れる)					
過食					
拒食					
せん妄(意識がハッキリせず、実際にはないものが見えたり、聴こえたりする)					
失禁等排泄介護の困難					
火の不始末					

(4)-2 本人のメンタルヘルス K6

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ① 神経過敏に感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ② 絶望的だと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ④ 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ⑤ 何をやるにも骨折りだと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |

(4)主たる介護者の健康やくらしの変化

(4)-1 既往歴(初回介護認定前)

1. 高血圧
2. 高脂血症
3. 脳卒中
4. 心疾患
5. 糖尿病
6. 消化器系(胃・腸等)
7. 耳の病気
8. 皮フの病気
9. その他()

(4)-2 既往歴(初回介護認定後)

1. 高血圧
2. 高脂血症
3. 脳卒中
4. 心疾患
5. 糖尿病
6. 消化器系(胃・腸等)
7. 耳の病気
8. 皮フの病気
9. その他()

(4)-3 現病歴

1. 高血圧
 2. 高脂血症
 3. 脳卒中
 4. 心疾患
 5. 糖尿病
 6. 消化器系(胃・腸等)
 7. 耳の病気
 8. 皮フの病気
 9. 持病の悪化
 10. その他()
- 医療機関_____

(4)-4 現在の自覚症状

1. 頭痛
2. 腰痛
3. 足の痛み(膝・大腿・下腿)
4. 肩痛
5. 疲れやすい
6. だるい
7. 食欲不振
8. 睡眠障害(早朝覚醒・中途覚醒・入眠障害・その他)
9. めまい
10. イライラくよくよする
11. 気持ちのコントロールができない
12. 体重の増減(± kg)
13. その他()

(4)-5 ストレスを感じるがありますか

1. たびたびある
2. ある
3. あまりない
4. まったくない

(4)-6 自分の性格について

1. 几帳面
2. 完璧主義
3. まじめ
4. 断れない
5. 人付き合いが苦手
6. その他()

初回認定後の変化についてお聞きします。

(4)-7 仕事の変化はありましたか

1. なし
2. あり()

(4)-8 趣味について変化はありましたか

1. なし
2. あり()

(4)-9 家族間の会話について変化はありましたか

1. 少し減った
2. 減った
3. 変わりなし
4. 少し増えた
5. 増えた

(4)-10 近隣との交流について変化はありましたか

1. 少し減った 2. 減った 3. 変わりなし 4. 少し増えた 5. 増えた

(4)-11 現在、介護者が介護で最も困難に感じていること(複数回答)

- | | | | | |
|----------|---|----|---|--------------|
| ①被介護者の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ②介護者の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ③家庭内の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| | | | | ※人数 健康 家族関係等 |
| ④経済の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ⑤その他 | 1 | なし | 2 | あり () |

(4)-12 介護者のメンタルヘルス K6

- | | | | | | |
|------------------------------------|---------|---------|-------|---------|--------|
| ①神経過敏に感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |
| ②絶望的だと感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |
| ③そわそわ、落ち着かなく感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |
| ④気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |
| ⑤何をするにも骨折りだと感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |
| ⑥自分は価値のない人間だと感じましたか。 | 0. 全くない | 1. 少しだけ | 2. 時々 | 3. たいてい | 4. いつも |

(3) 不足していると感じる支援や仕組みについて

①現在のサービスで満足

②不満足



②-1 家族を支援するサービス 1. 満足 2. 不満足

②-2 地域の理解やサポート 1. 満足 2. 不満足

②-3 経済支援 1. 満足 2. 不満足

②-4 医療 1. 満足 2. 不満足

(病状悪化時の相談や治療・対処)

②-5 リハビリテーション 1. 満足 2. 不満足

(認知症デイサービス)

②-6 その他 ()

※例題の一覧表を利用する

②-1～②-5 までの不満足について
本人が言ったそのままの言語で記載、または、一覧表からの希望 NO を記載する

V 被介護者の初回介護認定以前の生活

質問に答えた方: ①被介護者 ②介護者 ③家族 ④その他()

(1) 基礎疾患 1. なし 2. あり



1. 高血圧 2. 脳卒中 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症 6. 胃・腸病

7. 筋・骨格系(骨そしょう症、関節症等) 8. がん() 9. 神経系

10. 精神・行動障害 11. 目の病気 12. 耳の病気 13. 認知症 14. 頭部外傷

15. 肥満 16. その他()

(2) 飲酒歴 1. なし 2. あり 3. 不明



・飲酒年数 年

・頻度 1. 毎日(朝・昼・晩) 2. 週1回程度 3. 週2～3回程度

4. その他()

・飲酒量 1. 1日3合以上 2. 1日3合未満

(3) 喫煙歴 1. なし 2. あり 3. 不明



① 1日の本数 本 ② 喫煙年数 年 ③ やめた(年前)

(4) 人生のイベント 1. なし 2. あり 3. 不明



① 病気 ② 入院 ③ 親しい人の死 ④ 転居 ⑤ 新築 ⑥ 退職
⑦ 役割の喪失(家庭内・町内会・老人会など) ⑧ その他()

(5) 特異な体験 1. なし 2. あり 3. 不明



① 自分が体験: ・震災・事故・洪水 ・大雪 ・土砂崩れ・戦争・津波・噴火

② 現場を目撃: ・事故 ・殺人 ・自死 ・災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃

(6) 認定以前の職業について

(6)-1 一番勤務年数の長い職業

① 農業 ② 養鯉業 ③ サービス業 ④ 公務員 ⑤ 製造業
⑥ 技術職 ⑦ 教員 ⑧ その他()

(6)-2 最後の職業

① 農業 ② 養鯉業 ③ サービス業 ④ 公務員 ⑤ 製造業
⑥ 技術職 ⑦ 教員 ⑧ その他()

(7) 楽しみ

[]

VI その他

(1) 中越大震災の体験 1. なし 2. あり



①家屋被害(認定) : 1. 全壊 2. 大規模半壊 3. 半壊 4. 一部損壊 5. なし 6. 不明

②家屋改修状況 : 1. 新築 2. 改修 3. 一部改修 4. そのまま

③現在の住まい : 1. 震災前と同じ場所 2. 移転(自宅・アパート・マンション・復興住宅・その他)

④家族構成の変化 : 1. なし 2. あり()

(2) 虐待の可能性について感じたこと(調査員が感じたこと)

1. なし 2. あり



① 身体的虐待 ② 放任・放棄 ③ 心理的虐待

④ 性的虐待 ⑤ 経済的虐待 ⑥ その他()

状況(例 ・手に青アザが数カ所あった ・オドオドしている ・衣服が汚れている等)

()

その他の特記事項

訪問時の印象に残ったことや気付いたこと、感想等ありましたらご記入ください。

認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上で介護保険サービス未利用者調査票

調査員氏名 _____

I. 基本属性

(1) 氏名 _____ 性別 男・女 (2) 被保険者 No _____

(3) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日(_____ 歳) (4) 住所 小千谷市 _____

(5) 婚姻状況 1. 既婚 2. 離婚 3. 死別 4. 未婚 5. その他(_____)

(6) 教育年数 _____ 年 最終学歴 (_____)

(7) 家族構成

1. 独居 2. 家族など同居 3. その他



本人を含めて何人家族(_____ 人)

1. 配偶者 2. 息子・娘 3. 息子・娘の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

初回介護認定日 平成 _____ 年 _____ 月

(8) 要介護度 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3
6. 要介護4 7. 要介護5

(9) 日常生活自立度 1. J 2. A 3. B 4. C

(10) 認知症高齢者日常生活自立度

1. I 2. IIa 3. IIb 4. IIIa 5. IIIb 6. IV 7. V 8. M

(11) 経済状況

(11)-1 年金の種類 1. 国民年金 2. 厚生年金(企業年金なし) 3. 厚生年金(企業年金あり)
4. 共済年金 5. 老齢福祉年金のみ 6. その他(_____)

(11)-2 家計の主な収入(複数可)

1. サラリー 2. 年金 3. 農業収入 4. 自営業 5. その他(_____)

Ⅱ 医療

(1) 認知症診断名 1.アルツハイマー型 2.脳血管性 3.前頭側頭型 3.レビー小体型 4.その他 5.不明

(2) 発症年齢 (才)

(3) 認知症以外の疾病 1. 無 2. 有 (医療機関名)

(4) 本人の状況

(4)-1 心理・行動症状について

症 状	認定調査 No	ない	時々ある	ある	症 状
			1カ月に1回以上で 1週間に1回未満	少なくとも1週間に1回以上	
被害的(盗られ妄想等)	4-1				
作話(実際に体験していないことを実際にあつたように作られて話す)	4-2				
昼夜逆転	4-4				
徘徊(目的もなく歩き回る)					
落ち着かない	4-8				
1人で出たがる	4-9				
ひどい物忘れ(日常生活に支障があるほどの)	4-12				

症 状	認定調査		時々ある	ある	症状
	No	ない	1カ月に1回以上で 1週間に1回未満	少なくとも1週間に1回以上	
暴言・暴力					
異食(食物でない物や、腐ったものでも、何でも口に入れる)					
過食					
拒食					
せん妄(意識がハッキリせず、実際にないものが見えたり、聴こえたりする)					
失禁等排泄介護の困難					
火の不始末					

(4)-2 本人のメンタルヘルス K6

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ① 神経過敏に感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ② 絶望的だと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ④ 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ⑤ 何をするにも骨折りだと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |
| ⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか。 | 0. 全くない 1. 少しだけ 2. 時々 3. たいてい 4. いつも |

(4)主たる介護者の健康やくらしの変化

(4)-1 既往歴(初回介護認定前)

1. 高血圧 2. 高脂血症 3. 脳卒中 4. 心疾患 5. 糖尿病 6. 消化器系(胃・腸等)
7. 耳の病気 8. 皮フの病気 9. その他()

(4)-2 既往歴(初回介護認定後)

1. 高血圧 2. 高脂血症 3. 脳卒中 4. 心疾患 5. 糖尿病 6. 消化器系(胃・腸等)
7. 耳の病気 8. 皮フの病気 9. その他()

(4)-3 現病歴

1. 高血圧 2. 高脂血症 3. 脳卒中 4. 心疾患 5. 糖尿病 6. 消化器系(胃・腸等)
7. 耳の病気 8. 皮フの病気 9. 持病の悪化 10. その他()
医療機関_____

(4)-4 現在の自覚症状

1. 頭痛 2. 腰痛 3. 足の痛み(膝・大腿・下腿) 4. 肩痛 5. 疲れやすい
6. だるい 7. 食欲不振 8. 睡眠障害(早朝覚醒・中途覚醒・入眠障害・その他)
9. めまい 10. イライラよくよする 11. 気持ちのコントロールができない
12. 体重の増減(± kg)
13. その他()

(4)-5 ストレスを感じることはありますか

1. たびたびある 2. ある 3. あまりない 4. まったくない

(4)-6 自分の性格について

1. 几帳面 2. 完璧主義 3. まじめ 4. 断れない 5. 人付き合いが苦手
6. その他()

初回認定後の変化についてお聞きします。

(4)-7 仕事の変化はありましたか

1. なし 2. あり()

(4)-8 趣味について変化はありましたか

1. なし 2. あり()

(4)-9 家族間の会話について変化はありましたか

1. 少し減った 2. 減った 3. 変わりなし 4. 少し増えた 5. 増えた

(4)-10 近隣との交流について変化はありましたか

1. 少し減った 2. 減った 3. 変わりなし 4. 少し増えた 5. 増えた

(4)-11 現在、介護者が介護で最も困難に感じていること(複数回答)

- | | | | | |
|----------|---|----|---|--------------|
| ①被介護者の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ②介護者の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ③家庭内の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| | | | | ※人数 健康 家族関係等 |
| ④経済の問題 | 1 | なし | 2 | あり () |
| ⑤その他 | 1 | なし | 2 | あり () |

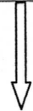
(4)-12 介護者のメンタルヘルス K6

①神経過敏に感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも
②絶望的だと感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも
③そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも
④気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも
⑤何をするにも骨折りだと感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも
⑥自分は価値のない人間だと感じましたか。	0. 全くない	1. 少しだけ	2. 時々	3. たいてい	4. いつも

(3) 不足していると感じる支援や仕組みについて

①現在のサービスで満足

②不満足



②-1 家族を支援するサービス 1. 満足 2. 不満足

②-2 地域の理解やサポート 1. 満足 2. 不満足

②-3 経済支援 1. 満足 2. 不満足

②-4 医療 1. 満足 2. 不満足

(病状悪化時の相談や治療・対処)

②-5 リハビリテーション 1. 満足 2. 不満足

(認知症デイサービス)

②-6 その他 ()

※例題の一覧表を利用する

②-1～②-5 までの不満足について
本人が言ったそのままの言語で記載、または、一覧表からの希望 NO
を記載する

V 被介護者の初回介護認定以前の生活

質問に答えた方: ①被介護者 ②介護者 ③家族 ④その他()

(1) 基礎疾患 1. なし 2. あり



1. 高血圧 2. 脳卒中 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症 6. 胃・腸病

7. 筋・骨格系(骨そしょう症、関節症等) 8. がん() 9. 神経系

10. 精神・行動障害 11. 目の病気 12. 耳の病気 13. 認知症 14. 頭部外傷

15. 肥満 16. その他()

(2) 飲酒歴 1. なし 2. あり 3. 不明



・飲酒年数 年

・頻度 1. 毎日(朝・昼・晩) 2. 週1回程度 3. 週2～3回程度

4. その他()

・飲酒量 1. 1日3合以上 2. 1日3合未満

(3) 喫煙歴 1. なし 2. あり 3. 不明



① 1日の本数 本 ② 喫煙年数 年 ③ やめた(年前)

(4) 人生のイベント 1. なし 2. あり 3. 不明



① 病気 ② 入院 ③ 親しい人の死 ④ 転居 ⑤ 新築 ⑥ 退職

⑦ 役割の喪失(家庭内・町内会・老人会など) ⑧ その他()

(5) 特異な体験 1. なし 2. あり 3. 不明



① 自分が体験: ・震災・事故・洪水 ・大雪 ・土砂崩れ・戦争・津波・噴火

② 現場を目撃: ・事故 ・殺人 ・自死 ・災害等で人が死んだり、ひどい怪我をした現場を目撃

(6) 認定以前の職業について

(6)-1 一番勤務年数の長い職業

① 農業 ② 養鯉業 ③ サービス業 ④ 公務員 ⑤ 製造業

⑥ 技術職 ⑦ 教員 ⑧ その他()

(6)-2最後の職業

① 農業 ② 養鯉業 ③ サービス業 ④ 公務員 ⑤ 製造業

⑥ 技術職 ⑦ 教員 ⑧ その他()

(7) 楽しみ

[]

小千谷市認知症実態調査
(第一報)

平成23年2月

発行者 新潟県小千谷市保健福祉課

〒947-8501 小千谷市城内2丁目7番5号 電話 0258-83-4160

新潟県精神保健福祉協会 こころのケアセンター

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3 電話 025-280-0270

ユニゾンプラザハート館